TDC

東京歯科大学同窓会会報

1981年12月 第204号

東京歯科大学同窓会会報　第204号

目　次

カラー特集　東京歯科大学千葉校舎完成す
Ⅰ建物　Ⅱ校舎内部　Ⅲ課外活動の場
千葉校舎開校式・千葉病院開院式
東京歯科大学千葉校舎竣工式
東京歯科大学創立90周年記念式
東京歯科大学同窓会評議員会・
総会・懇親会

巻頭言……1
お知らせ……2
本部短信……3～6
逝去会員……7
昭和56年度評議員会，総会報告……8～31
母校だより……32～40
支部のうごき……41～42
クラス会だより……43～48
へんしゅうこうき……49

（表紙・カット　菊池　豊）

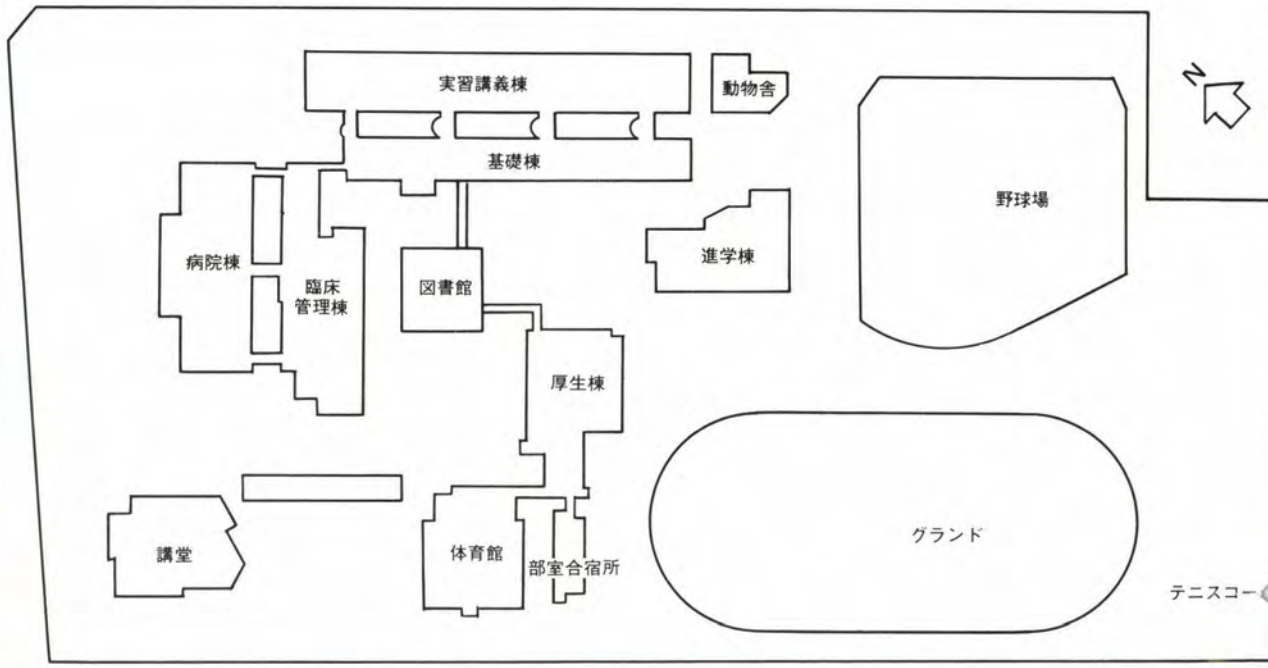
東京歯科大学千葉校舎完成す

新校舎紹介　　そのⅠ　建物

病院棟

体育館

講堂



厚生棟

動物舎

臨床管理棟

基礎棟

進学棟

図書館

新校舎紹介　　そのⅡ　校舎内部

講堂内部

図書館悦覧室

厚生棟第1食堂

厚生棟学生ホー

進学棟教室

組織学・病理学実習室

補綴・矯正学実習室

千葉病院診療室（補綴科）

新校舎紹介　その Ⅲ　課外活動の場

厚生棟前広場

弓道場

テニスコート

体育館・アリーナ

体育室

千葉校舎開校式・千葉病院開院式

開校式での理事長挨拶

開院式でのテープカット

開院当日の受付

東京歯科大学千葉校舎竣工式

修祓式・竣工式

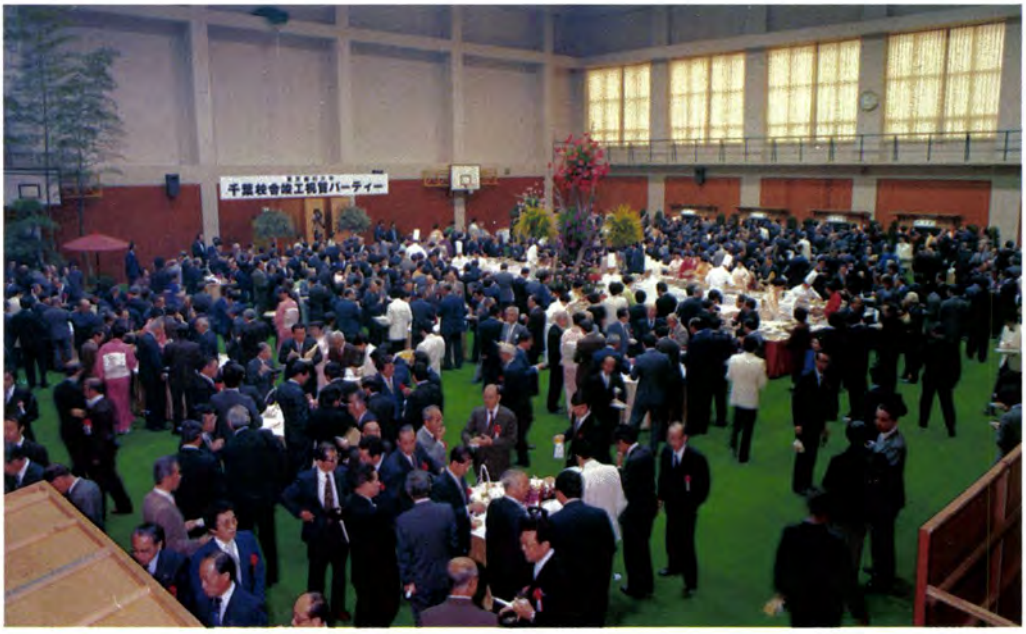
修祓式

講堂における竣工式

竣工式典出席の来賓

竣工式典出席の各理事

祝賀パーティ



体育館における祝宴

東京歯科大学創立90周年記念式

記念式典

式典における河邊会長挨拶

式典における校歌斉唱

鹿島俊雄理事長

松宮誠一学長

記念祭歌発表・祝賀パーティ

姉妹校からの来賓：左よりフロリダ大学歯学部長，カロリンスカ大学歯学部長，延世大学校歯科大学長

パーティ会場風景

講堂における記念祭歌の発表

東京歯科大学同窓会
評議員会・総会・懇親会

（昭和56年11月6日）

叙勲・褒章者顕彰式

評議員会

総会

懇親会

懇親会

東京歯科大学創立90周年記念祭歌

甍（いらか）に聳（そび）える

聳（そび）に甍（いらか）える

一、
甍に聳える　時計台
水道橋畔　幾年ぞ
ああ青春の　夢を馳せて
培われたる　伝統の
高雅学風　とこしえに

二、
陽光溢れる　学の森
都の東に　新生母校
雄飛あらたに　若人の
ああ先人の　嶺に立ちて
英知の力　今ここに

三、
悠久練磨　愛の波
世紀の医療の　輪をひろげる
ああ果しなき　明日に向い
この身を試し　人類の
幸を求めて　いざゆかん

作詞　記念祭歌小委員会

記念祭歌の誕生まで

この記念祭歌ができるまでの経緯のあらましを記録しておく。

昭和55年1月，6月　中久喜　喬教授沖縄出張の際，千葉校舎竣工並びに創立90周年を記念して祝典歌が欲しいとの意向を，沖縄で作曲活動している旧知の同窓高江洲義寛氏に伝え，語り合う。

昭和56年6月9日（火）　全体教授会において創立90周年記念事業実行委員会が発足し，松宮誠一学長により記念祭歌小委員会が組織され本格的活動に入った。

昭和56年6月20日（土）　実行委員会委員長より中久喜記念祭歌小委員長を介して高江洲義寛氏に正式に作曲を委嘱した。

昭和56年6月22日（月）　記念祭歌を学内に公募し9月1日に締め切る。

昭和56年9月7日（月）　記念祭歌小委員会で応募作品5編について歌詞を選定した。その後，作曲者との打ち合わせで補作の必要ありとし検討した。

昭和56年10月5日（月）　歌詞1，2，3番を決定し作曲を高江洲義寛氏に依頼する。

昭和56年10月10日（土）　作曲が最終的にできあがる。

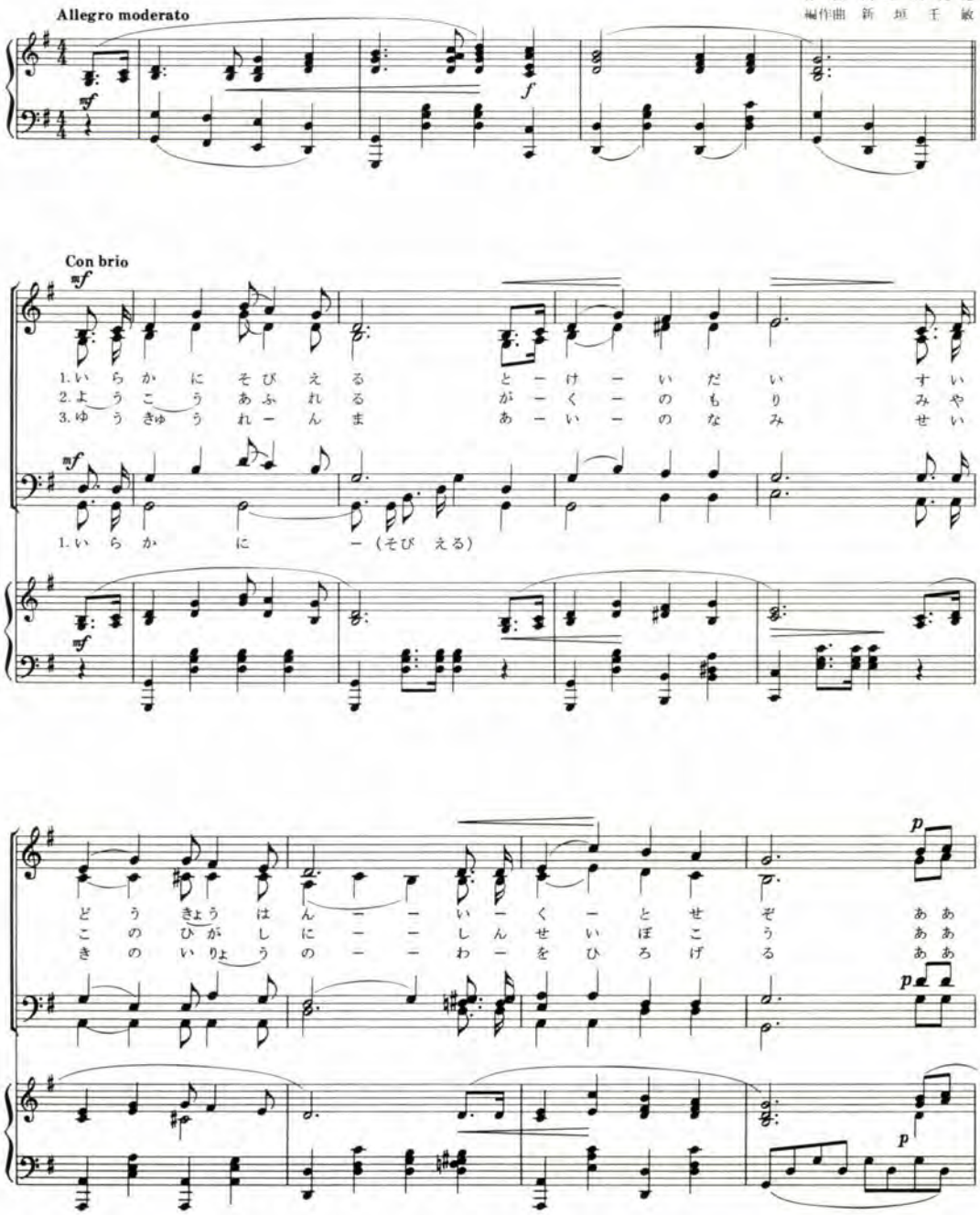
昭和56年10月18日（日）　初めて東京歯科大学合唱部，同管弦楽部，記念祭歌小委員会の代表と作曲者，指揮者との打ち合わせとなる。それによって，オーケストレーション等の編曲を作曲家新垣壬敏氏に依頼する。

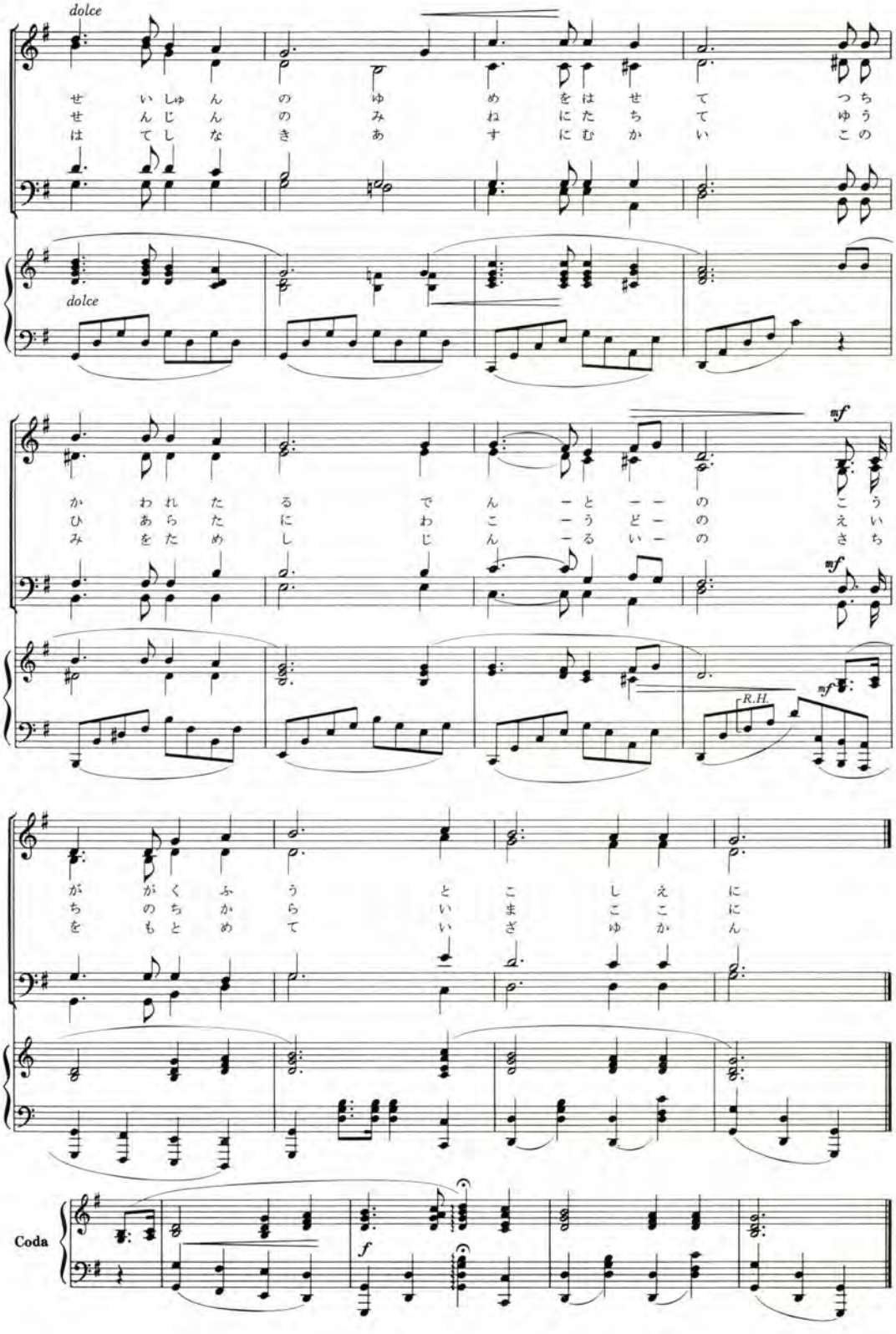
昭和56年10月23日（金）　オーケストラ用楽譜ができあがる。

甍に聳える

〈東京歯科大学創立90周年記念祭歌〉

作　詞　記念祭歌小委員会
作　曲　高江洲義寛
編作曲　新垣壬敏




dolce
せ い しゅ ん の ゆ め を は せ て つ ち
せ せ いん じん の の み ね に た ち て ゆ う
は て し な き あ す に む か い こ の
dolce
mf
か わ れ た る で ん ー と ー ー の こ え う い
ひ あ ら た に わ こ ー う ど ー の の こ え さ ち
み を た め し じ ん ー る い ー の
mf
mf
R.H.
が が く ふ う と こ し え に
ち の ち か ら と い ま こ こ か に
を も と め て い ざ ゆ か ん
Coda
f

作曲者のことば

この記念祭歌の曲は，50余年の歴史を持つ東京歯科大学校歌（北原白秋作詞，山田耕筰作曲）の曲風にならい，大学創立90周年を記念し，あわせて千葉校舎の誕生を祝い，わが母校の光輝ある未来への羽ばたきを祈りつつ，Allegro moderato（軽快に，中庸）のテンポの中に，明るく Conbrio（輝きをもって）で歌える曲にしました。

流れるようなメロディーに若々しさを基調とし，なおかつ優雅な曲風に努めました。そして，メロディーも高すぎないよう配慮し，ユニゾン（斉唱）でも，コーラスでも歌え，ハーモニーの響きに工夫しました。

作詞について

歌詞は，高江洲義矩氏の作品をもとにして合作形式をとり，最終的には5編の応募作品を1編にまとめました。

歌詞1番は水道橋母校の永遠を時計台に象徴して歴史と伝統を謳い，「高雅学風徹千古」は野口英世博士が東京歯科大学のために揮毫（大正13年）されたもので，現在遺墨として保存されています。2番は千葉における新生母校の未来を若い学生諸君の力に期待してその発展を祈り，3番は医学の祖ヒポクラテスの精神に基づいて「この身を試し」としました。

作 曲 者　高江洲義寛（たかえす　よしひろ）

1942年沖縄県に生まれる。

東京歯科大学卒業。お茶の水キリスト教音楽院作曲科卒業。作曲を高田三郎，指揮を長谷川朝雄，声楽を松山憲善の各氏に師事。

日本やアジアの伝統音楽をモチーフにした現代音楽の分野における作品および「わらべうた」古典芸能の研究・保存活動に携わっている。

昭和52年文化庁芸術祭優秀賞受賞。受賞作品「南風の詩」，著書「沖縄のわらべうたの世界」「沖縄民謡合唱曲集」その他。レコード・映画音楽・合唱作品あり。

現在，沖縄にて歯科診療および作曲を中心とした音楽活動を展開している。

編作曲者　新垣壬敏（あらがき　つぐとし）

1938年フィリッピンに生まれる。

国立音楽大学作曲科卒業。

和声学を増田宏三，作曲法を高田三郎に師事。

＜教会施法によるミサ曲＞＜混成合唱のためのミサ曲―平和の願い＞や40曲以上の詩編，モテットの作品の他，演奏会のためのアリア＜人魚のうた＞＜冬木立＞，フルートのための＜憂い＞等の作品がある。

編著「合唱典礼聖歌集Ⅰ，Ⅱ」「グレゴリオ聖歌と日本の典礼聖歌」等。

現在，白百合女子大学専任講師・尚美音楽短期大学講師・東京カテドラル聖歌隊指揮者。

指 揮 者　田代俊文（たしろ　としふみ）

1952年佐賀県に生まれる。

東京音楽大学卒業。指揮を三石精一，F. Eggerman，ピアノを鈴木博子，石井千穂，作曲を富永定の各氏に師事。

現在，東京音楽大学指揮助手，東京歯科大学管弦楽団指揮者，東京室内歌劇場，東京オペラプロデュース，ステファノオペラ劇場等の副指揮者を務める。とくに，東京歯科大学管弦楽団の演奏指揮には1977年指揮者として就任以来，部員一同からの信望厚く，メンバーに新旧の入れ替りの起こる大学のオーケストラという事情のもとでその育成に尽されている功績は多大である。

巻頭言

千葉校舎竣工ならびに創立90周年を迎えて

会長　河　邊　清　治

ローマは一日にして成らずと申しますが，先日ローマを訪れ，その歴史の重みを身をもって感じてまいりました。

母校は，明治23年高山先生の御発足による我国最古の歴史をもつ歯学で，これを血脇校長が受けつがれ，水道橋に東京歯科医学専門学校として明治の末に認定されました。

そして，大正に至り発展をとげたが，おしくも関東大震災にて校舎は焼失してしまいました。

しかし，当時同窓会長も兼ねておられた血脇校長は，歯学教育に熱意をもやされ，全国の同窓に協力をよびかけ，昭和の初め，東洋一と称された校舎を水道橋に再び設立され日本の歯学教育の中心となった。これを奥村学長が引きつがれ，戦中戦後の厳しさにたえ母校を我国初の歯科大学に昇格させ，ついで福島学長，杉山学長，そして関根学長に引きつがれるに至りました。しかし水道橋では大学教育の場としては手狭となり，鹿島理事長指導のもと千葉に新天地を求め，関根永滋前学長は自からを顧みず全力をつくされましたが，在任中他界されましたことは誠に残念なことでした。

これを受けつぎ松宮学長は，鹿島理事長の協力により千葉校舎の落成にこぎつけました事は，誠に感慨深いものがあります。

一方，同窓会としては井上名誉会長の御発案による同窓会80周年記念募金もこのたび予定以上に完納しました事は，これもひとえに地域連合会会長をはじめ各県支部長ならびに全国会員の皆様の絶大なる母校愛のたまものであります。

そしてあの落成式ならび，90周年記念式典にあたり我が同窓である韓国の姉妹校延世(セブラン)大学金用瑄学長，我校の古い歴史に魅せられ姉妹校を申し込まれた米国フロリダ州立大学の Don, L. Allen 歯学部長，永い研究の場でつながりのあるスウェーデン国の姉妹校であるカロリンスカ大学の Lennart Edwall 歯学部長，ならびに中華人民共和国の同窓，黄群华，柳步青，鄭鱗蕃，李陽斯，先生方の御出席をいただき国際的な雰囲気のうちに式典を迎えましたことは，母校90周年の歴史の重みをつくづく感じさせられました。

お知らせ

新年交歓会御案内

恒例の新年交歓会は**昭和57年1月1日（金）の午後1時**から行います。ご家族の皆様と御家庭でゆっくりと新春を迎えられた後，母校水道橋にご参集戴き，旧知旧友と共に新年を寿いて戴きたいと存じます。

日　時　昭和57年1月1日（金）午後1時

場　所　東京歯科大学（水道橋校舎）中央ホール

東京歯科大学

理事長　鹿島俊雄　同窓会長　河邊清治

学　長　松宮誠一　父兄会長　大川豊太郎

○ TDC卒後研修セミナー'82日程

〔主題〕 生体と修復の調和を求めて

と　き　第1回　昭和57年2月20日(土)，第2回　同3月13日(土)，第3回　同4月17日(土)，第4回　同5月15日(土)，第5回　同6月19日(土)，第6回　同7月17日(土)，第7回　同9月18日(土)それぞれ午前9時30分より午後4時30分まで

ところ　経団連会館（地下鉄丸の内線・千代田線・東西線大手町駅，国電東京駅下車）

応募期限　昭和56年1月31日

○ 昭和57年度東京歯科大学入学試験

期　日　(1) 学科試験・小論文試験・適性試験：2月1日(月)，2日(火)

(2) 面接試験・健康診断：2月3日(水)，4日(木)，5日(金)のうち大学の指定するいずれか1日の午前または午後

試験場　東京歯科大学千葉校舎

発　表　昭和57年2月10日（水）午後4時

入試要項，大学要覧，願書一式は千葉校舎教務課に**1,500**円（郵送の場合は切手350円分を同封）を添えてお申し込み下さい。なお，水道橋校舎でもお頒け致しております。詳細は本号38頁をご覧下さい。

○ 昭和56年度東京歯科大学歯科衛生士専門学校入学試験

期　日　昭和57年2月25日(木)，26日(金)

試験場　東京歯科大学歯科衛生士専門学校（水道橋）

合格者発表　昭和57年2月27日(土)　午後3時

入学試験要項ならびに願書一式は水道橋校舎（三崎町）歯科衛生士専門学校教員室で600円でお頒けしております。なお，郵送の場合は670円を現金書留あるいは郵便為替でお送り下さい。なお，詳細は本号40頁をご覧下さい。

○ 第215回東京歯科大学学会例会

と　き　昭和57年3月6日(土)

ところ　東京歯科大学千葉校舎

本部短信

1） 行事出張，その他

9月28日　卒後研修特別委員会（企画作業小委員会）
10月1日　役員打合会（在京副会長，総務，渉外部担当理事）
1日　卒後研修特別委員会（企画作業小委員会）
3日　地域支部連合会長会
3日　同窓会顧問会
5日　広報部委員会
6日　副会長正岡健夫氏逝去（午後4時54分）
8日　役員打合会（共済部担当理事）
8日　学術部委員会（進学指導セミナー担当）
8日　副会長故正岡健夫氏葬儀　熱田理事参列
17日　全国歯科大学同窓，校友会懇話会　伊丹副会長，福本，熱田，天野理事出席
17日　東海地域支部連合会総会　井上名誉会長，津島，伊藤理事出張
17日　北陸地域支部連合会総会　安嶋副会長，浜野，白崎理事出張
17日　新潟県支部総会　阿部副会長出張
20日　常任理事会
22日　卒後研修特別委員会（合同）
24日　広島県支部総会　安嶋副会長出張
25日　副会長故正岡健夫氏愛媛県歯科医師会葬　井上名誉会長，天野理事参列
29日　役員打合会（在京副会長，総務，会計，渉外，学術，共済部担当理事）
11月3日　大阪歯科大学創立70周年記念第8回全国同窓会会員大会　伊丹副会長出席
5日　理事会
6日　昭和56年度評議員会，後援会総会，定時総会　懇親会（午前10時　於高輪プリンスホテル）
11月7日　千葉校舎竣工式並びに祝賀会（竣工式午前10時　祝賀会午後1時）河邊会長他役員列席
8日　大学創立90周年記念式典並びに祝賀会（記念式典午後1時　祝賀会午後3時）河邊会長他役員列席
10日　広報部委員会（会報編集）
11日　卒後研修特別委員会（企画作業小委員会）
13日　第10回ゴルフ大会　河邊会長出張
14日　九州地域支部連合会総会（鹿児島県支部担当）伊丹副会長，天野，林理事出張
23日　近畿地域支部連合会総会　河邊会長，杉山，林理事出張
27日　東京地域支部連合会総会　河邊会長，海老原理事出張

昭和56年秋の叙勲，褒章並びに昭和56年度日歯政連褒章受章の栄誉に浴された本会関係諸先生は次のとおりであります。心からお祝い申し上げます。（敬称略）

（叙勲受章者）

勲二等瑞宝章	松宮　誠一	（東京都）
勲四等瑞宝章	田中　益穂	（長野県）
勲五等双光旭日章	浜田謹之助	（鹿児島県）
勲五等双光旭日章	中川　六男	（山梨県）
勲五等双光旭日章	高橋　統男	（山形県）
勲五等瑞宝章	小泉　徳三	（神奈川県）
勲五等瑞宝章	村松富次郎	（山梨県）
勲五等瑞宝章	杉山禄七郎	（静岡県）

（褒章受章者）

藍綬褒章	辻村　松一	（三重県）
藍綬褒章	奥瀬　馨	（青森県）
藍綬褒章	菊池　文雄	（栃木県）

（日歯政連褒章受章者）

功績章	井上　眞	（東京都）
功績章	鈴木　貞一	（東京都）
功績章	田中　益穂	（山梨県）

東京歯科大学同窓会
団体総合所得補償保険のおすすめ

同窓会会員諸先生方の福祉共済の一環として，かねてから企画しておりました，所得補償保険を，『東京歯科大学同窓会団体総合所得保償保険』として立案し，本年の同窓会評議員会，定時総会に第12号議案としてお計りいたしましたところ，多数の御賛同を得て成立いたしました。

この保険は，２つの保険をドッキングさせたもので，一つは所得補償保険，もう一つは積立ファミリー交通傷害保険であります。この二種類をドッキングさせることで会員御本人の休業時の補償と，御本人及び御家族の交通建物火災等にかかわる傷害に対する補償をしようという意図であります。〔所得補償＋積立ファミリー〕〔所得補償のみ〕〔積立ファミリーのみ〕の３種類15型のどの型に御加入されても結構です。詳細については，同封してあります，〔御案内〕をお読み下さい。ハガキに御希望の向きを記入していただき昭和57年２月20日の受付締切日迄に同窓会事務局宛に御返送いただきますと，全国の安田火災海上保険会社の現地代理店から係員が説明に参上いたします。70才以上の方の場合は，加入できる型がきまっておりますので，とくに，ハガキに年令を明記して下さい。

団体保険は，加入される方が多ければ多い程，メリットが高くなり，会員の利益につながるものであります。多くの先生方の御加入をおまち申しあげます。

（共済部）

抜去歯牙を捨てないで!!

後輩のために役立てよう

現在専門課程４年に在学中の第86期生の国家試験も真近かに迫り，例年の如く国家試験に使用する天然歯の収集状況は，かなり不充分な状態といえます。

国家試験に必要な天然歯は**上顎中切歯，上顎第１，第２小臼歯，上顎第１大臼歯**で，中切歯を左右２本，小大臼部を並びていずれも石膏ブロック中に植立して試験に使用します。歯学のめざましい進歩，口腔衛生思想の普及などにより，抜去される歯牙も激減しているのが現状で，学生諸君が一軒一軒歯科医院を訪問しましても，頂戴できる数はわずかなものです。さらに従前にも増して，歯学の進歩に伴なう教科内容の高度化とあいまって歯科医院訪問に時間をなかなかさけない状態にあります。

同窓会会員各位におかれましては，学生が先生方の診療所を訪問して抜去歯牙を頂戴にあがった折には，ぜひご協力をお願いいたします。

また，国家試験は窩洞形成，髄室開拡が試験問題として出題されることが多い関係上，折角の抜去歯牙も乾燥していますと破折など受験生にとっては，思いもかけぬ事になりますので，抜歯後直ちに固定液（70%消毒用アルコールもしくは10%ホルマリン）中に浸漬保存して頂くようお願い致します。

なお，既に収集して下さっている歯牙あるいは収集願う歯牙につきましては，ご面倒でも下記にご一報下さるよう重ねてお願い致します。

〒260 千葉市真砂１－２－２
東京歯科大学　学生課宛
電話　0472—79—2222

またご郵送いただける場合には，70%アルコール浸漬の状態で（ホルマリンは劇物ですので郵送中の事故の心配があります）お送り下されば幸いです。

抜去歯牙は
口の中から→保存ビンへ

同窓会会員各位

東京歯科大学同窓会会長　河邊清治
東京歯科大学父兄会会長　大川豊太郎

歯科医師国家試験用抜去歯牙収集に関するご協力依頼

師走もおし迫った今日この頃ですが，会員各位にはご健勝のことと拝察申し上げます。

さて，この度明春の国家試験に備え，専門課程４年に在籍中の学生諸君は鋭意諸準備を進めておりますが，特に保存実地試験に必要な天然歯（1|1　5|6左右いずれも可，なるべくノンカリエス）の収集に大変苦労している状態です。

ここ何年か，この件で同窓各位に多大なご協力を頂いており，大変恐縮しております。

本学が過去から国家試験に高い合格率を示すことができましたのも，ひとえに先生方のご協力の賜物と深く感謝しております。

つきましては，本年も会員各位の絶大なるご理解，ご協力により，国家試験に万全な対策をもって臨みたいと思いますので，何卒ご支援，ご協力を心よりお願い申し上げます。

正岡健夫副会長のご逝去を悼む

名誉会長　井　　上　　眞

東歯同窓会副会長正岡健夫君は去る，10月６日病気の為め，奥様始めご家族ご一同のお手厚き看病の効もなく遂に永眠されました。行年65才の若さでした。ご家族のご愁傷幾許りでありましょう。

君は昭和15年３月，東京歯科医学専門学校をご卒業，一時南方燃料本部軍医部に軍医として勤務，昭和22年愛媛県庁歯科診療所勤務，36年に歯科診療所を開設されました。

昭和45年１月，福島秀策会長当時地区選出理事として以来５期10年間，昨年11月より同窓会副会長に選任されました。副会長就任の挨拶に，「私は常に大英帝国の哲学者カーライルが申しましたように，“大英帝国はインドを失いてもシエークスピヤを失ってはならない。”その言葉は今でも自分の脳裏から離れません。私はそれを信条として今日まで歩みつづけて来た医政の道であります。」と力強く結ばれた君は，人格識見共に優れ人間性の溢れた良き指導者でありました。衆望を荷って実に９期18年間県の会長を努められた事を以ってしてもいかに身を殺して仁を為されたかがわかります。君はまた日本歯科医師会副会長をも一期２年，他にも数々の重要な職責を歴任されました。

君は単に医政方面ばかりでなく地域社会は勿論国政にも関係を持ち，去る10月25日の県歯科医師会葬に当りても，地元衆参両議員を始め県知事も自から会葬され弔詞を手向けられたのであります。

君の肉体はたとえ幽冥の地にあるとも，母校を愛し，同窓をこよなく愛した君の魂は永遠に我等の心に深く刻まれ，我等のある限り共に生き続ける事と信じます。白菊の供花に包まれた君の写真は今にも周囲の人に語りかける様な表情でした。

正岡歯科医院もご子息勇記君並に一条君に依って立派に継承されています。昇天の御霊の安らかに眠られん事をお祈りします。

賞罰関係歴

昭和32年５月２日	日本歯科医師会長表彰（役員としての功労）
〃 32年11月３日	愛媛県知事表彰（保健衛生功労）
〃 33年７月10日	社会保険診療報酬支払基金理事長表彰（社会保険功労）
〃 37年５月15日	国民健康保険中央会長表彰（国民保険功労）
〃 41年１月10日	愛媛新聞社賞（文化の功労）
〃 43年５月18日	愛媛県国民健康保険団体連合会理事長表彰(国民保険功労)
〃 43年10月15日	厚生大臣表彰（国民健康保険法施行30周年記念）
〃 44年11月23日	松山市長表彰（文化の功労）
〃 49年11月３日	藍綬褒章
〃 53年４月22日	愛媛県歯科医師会長表彰（永年役員の功労）
〃 53年６月27日	文化庁長官表彰（永年文化行政功労）
〃 54年２月21日	松山市長表彰(教育文化功労)
〃 56年６月20日	日本学校歯科医会長表彰（学校歯科の功労）

逝去会員

下記の会員が逝去されました。ここに謹んで哀悼の意を表し心からご冥福をお祈り申し上げます　（敬称略・届出順）

●推　薦 山形県支部	佐藤増治（87才） 〒994　天童市大字天童老野森24	急性心不全	56. 9.21
●大 13 卒 福岡県支部	徳永千之（81才） 〒558　大阪市住吉区長居町東3—5　徳永照正方		56. 9.18
●大 13 卒 世田谷支部	大曽根晋夫（81才） 〒154　世田谷区代田2—19—16	脳硬塞	56. 9.24
●大 14 卒 西湘支部	水野茂夫（79才） 〒250　小田原市清水新田197—3	脳溢血	56. 9.25
●大 8 卒 長崎県支部	田中健之助（90才） 〒857　佐世保市谷郷町14	肺炎	56. 9.30
●昭 7 卒 日本橋支部	関口和夫（71才） 〒103　中央区日本橋室町1—18	脳内出血	56.10. 3
●昭 15 卒 愛媛県支部	正岡健夫（65才） 〒792　松山市二番町4—5—6	腎臓癌	56.10. 6
●昭 19.9 卒 品川支部	渡辺一男（56才） 〒141　品川区西五反田5—1—25	胃癌	56.10. 8
●昭 5 卒 埼玉県支部	石井功時（74才） 〒344　春日部市備後373	心臓発作	56.10.12
●推　薦 兵庫県支部	大迫美義（84才） 〒657　神戸市灘区鶴甲3—2—2	肺炎	56. 9. 4
●医学校 世田谷支部	大塚士平（82才） 〒155　世田谷区代沢1—27—5	心不全	56.10.17
●医学校 西三河支部	三宅光一（81才） 〒471　豊田市土橋町8—112—2	老衰	56.10.20
●昭16.12卒 尾張支部	松前五郎（61才） 〒464　名古屋市千種区今池1—4—14	心筋硬塞	56.10.22
●昭 4 卒 茨城県支部	小舩不二男（75才） 〒310　水戸市大町3—4—12	心不全	56.10.25
●医学校 福岡県支部	能登原　保（83才） 〒811-11　福岡市西区大字脇山2800—8		56.10.23
●昭 2 卒 西三河支部	盛田秀雄（77才） 〒447　碧南市石橋町3—107	心筋硬塞	56.10.24
●昭 18.9 卒 宮城県支部	中嶋　賢（59才） 〒980　仙台市一番町1—11—21	心不全	56.10.28
●大 12 卒 世田谷支部	兵藤弥夫（82才） 〒157　世田谷区祖師谷3—36—4　モリマンション201号	老衰	56.10.24
●昭 13 卒 中野支部	杉浦　仁（64才） 〒164　中野区本町2—13—13	心筋硬塞	56.10.30
●昭 34 卒 湘南支部	中野義基（49才） 〒253　茅ヶ崎市旭ヶ丘9—9	食道潰瘍	56.11. 1

昭和56年度評議員会，総会報告

昭和56年度評議員会

昭和56年11月6日（金）午前10時より東京都港区高輪プリンスホテルにおいて昭和56年度評議員会が開催された。

福本総務担当理事の司会により伊丹副会長が開会。点呼は受付の署名をもってこれに代えることを了承した。評議員総数247名，出席評議員178名。

会長挨拶

河邊同窓会長が挨拶を行った。

来賓挨拶

司会により来賓紹介のあと，高橋千葉病院長より大学が千葉校舎に移転後における大学の内容，千葉病院の現況について詳細且つ適切な挨拶がなされた。

議長，副議長の選出

議長に坂本豊美氏，副議長に一戸俊治氏を選出した。

議事録署名人の選出

議長一任となり，酒匂睦夫評議員と白川尚評議員が指名され，選出した。

報　告

会務報告並びに会計現況報告は，報告書に基づき津島総務担当理事および菊池会計担当理事が行ない，物故会員に対して全員黙禱を捧げた。

議　事

議長より議案の順序を変更する件につき提案があり，第6号議案を第12号議案に，第7号以下第12号まで1号あて繰上げる件につき承認を得た。

第1号議案，第2号議案，第3号議案を一括上程菊池，関口の両会計担当理事により提案の説明があり，滝監事から適正に処理されている旨の監査報告後，原案通り承認され，可決確定した。

更に第4号議案も承認され可決確定した。

昼食休憩の後，12時30分より再開

第5号議案により第11号議案までを一括上程，福本総務担当理事，菊池，関口会計担当理事より提案理由の説明があり異議なく可決確定した。

続いて第12号議案について杉山共済担当理事より提案理由の説明があり，三島，村越，西村各評議員から貴重なるご意見をいただき質疑応答の末

承認され，可決確定された。

第13号議案では中久喜総務担当理事より推薦理由の説明があり，河邊会長が河合貞吉名誉教授を名誉会員に推薦，全員一致でこれを可決した。

第14号議案では中久喜総務担当理事より25名の受章者について提案，第87回総会において顕彰式を行う旨決定した。

第15号議案役員改選については，福本総務担当理事より提案理由の説明の後，久米田，五十嵐，三宅，大久保各評議員の推薦のことばあり，これを議長に諮り全員挙手にて，河邊会長再任を確定した。

なお村越評議員よりの提案で監事は議長，副議長に一任，副会長以下の理事については地区選出理事を除いて会長に一任することに決定した。

ここで河邊会長より挨拶がなされた。

また阿保評議員より動議が提案され，第16号議案として，現役員並びに各種委員に対し感謝する件について承認可決された。

坂本議長挨拶の後，板垣副会長の閉会の辞により全日程を午後2時2分無事終了した。

関口恵造，浅井美幸，井上裕後援会総会

評議員会に引続き東京歯科大学同窓会後援会総会が井上裕後援会，熱田俊之助幹事長の司会により開会された。河邊清治同窓会長および3後援会の斉藤静三会長が挨拶を行ない，次いで一戸俊治が議長となり，関口恵造後援会の山崎文男幹事長が3後援会の会務並びに会計現況報告を行ない，協議は，浅井美幸後援会の三宅直晴幹事長が関口，浅井，井上3後援会の昭和55年度収支決算並びに次期役員選出を万場一致で承認した。

次いで浅井美幸，井上裕議員より国会報告をかねて謝辞が述べられた。なお関口恵造議員夫人には盛大な拍手による激励が送られた。

第87回同窓会定時総会

午後3時56分嶋中総務担当理事の司会により阿部副会長が開会。河邊同窓会長が挨拶し，来賓の紹介後，鹿島理事長，松宮学長，山崎日歯会長，大川父兄会長が挨拶された。

議長一戸俊治，副議長に坂本豊美両氏を，そして議事録署名人には平佐武郎，佐藤貞勝の両氏をそれぞれ選出した。

会務報告，評議員会報告，会計報告が終り議事に移る。第1号議案から第3号議案まで一括上程，監事の監査報告後可決確定，報告，議事ともに無事終了した。

会場整理の後，叙勲，褒章受章者顕彰式をめでたく開式。河邊会長より顕彰状と記念品の贈呈が13名の出席者一人一人者について行われた。

受章者を代表して勲二等瑞宝章の栄に輝かれた松宮誠一学長より謝辞が述べられた。

引続き同窓会創立80周年記念募金実行委員会委員に対する感謝状が河邊会長より代表榎智光氏に贈られた。

安嶋副会長の閉会のことばによって午後6時3分全日程を終了した。

引続き中国並びに韓国の同窓も交え多数の参加者によって懇親会が盛大に催された。

東京歯科大学同窓会評議員会

昭和56年11月6日（金）午前10時～午後2時30分

1. 開会の辞
1. 点呼
1. 会長挨拶
1. 来賓挨拶
1. 議長，副議長選出
1. 議事録署名人選出
1. 報告
   (1) 昭和56年度　会務報告
   (2) 同窓会創立80周年記念募金（東京歯科大学施設整備資金）状況報告
   (3) 昭和56年度　会計現状報告
1. 議事
   第1号議案　昭和55年度　東京歯科大学同窓会経常部収支決算に関する件
   第2号議案　昭和55年度　東京歯科大学同窓会特別会計収支決算に関する件（同窓会基金，血脇記念基金，共済基金，名簿積立金，退職積立金，同窓会創立80周年記念募金事業）
   第3号議案　昭和55年度　東京歯科大学同窓会財産目録の承認に関する件
   （監事報告）
   第4号議案　同窓会創立80周年記念募金事業の完了，並びに余剰金の同窓会基金への繰入に関する件
   第5号議案　昭和57年度　東京歯科大学同窓会事業計画に関する件
   第6号議案　昭和57年度　大学助成金の一部同窓会基金への繰入に関する件
   第7号議案　昭和57年度　東京歯科大学同窓会入会金および会費に関する件
   第8号議案　昭和36年度より昭和39年度に至る会費並びに共済負担金の徴収打切に関する件
   第9号議案　昭和57年度　東京歯科大学同窓会経常部収支予算に関する件
   第10号議案　昭和57年度　東京歯科大学同窓会共済負担金に関する件
   第11号議案　昭和57年度　東京歯科大学同窓会特別会計収支予算に関する件（同窓会基金，血脇記念基金，共済基金，名簿積立金，退職積立金）
   第12号議案　東京歯科大学同窓会団体総合所得補償保険に関する件
   第13号議案　昭和56年度　名誉会員の推薦に関する件
   第14号議案　昭和56年度　叙勲，褒章受章者顕彰に関する件
   第15号議案　役員改選に関する件
   第16号議案　現役員並びに各種委員会委員に対する感謝決議
1. 閉会の辞

第87回東京歯科大学同窓会定時総会

昭和56年11月6日（金）午後3時40分～午後5時40分

1. 開会の辞
1. 会長挨拶
1. 来賓挨拶
1. 議長，副議長選出
1. 議事録署名人選出
1. 報告

(1) 昭和56年度　会務報告
(2) 同窓会創立80周年記念募金（東京歯科大学施設整備資金）状況報告
(3) 昭和56年度　評議員会報告
(4) 昭和57年度　東京歯科大学同窓会経常部並びに特別会計収支予算に関する件

1. 議　事

第1号議案　昭和55年度　東京歯科大学同窓会経常部収支決算に関する件

第2号議案　昭和55年度　東京歯科大学同窓会特別会計収支決算に関する件（同窓会基金，血脇記念基金，共済基金，名簿積立金，退職積立金，同窓会創立80周年記念募金事業）

第3号議案　昭和55年度　東京歯科大学同窓会財産目録の承認に関する件

（監事報告）

1. 叙勲，褒章受章者顕彰式
1. 閉会の辞

昭和56年度東京歯科大学同窓会会務報告

自 昭和55年10月1日～至 昭和56年9月30日

1. 現在会員数　8,341名
　内　名誉会員　29名
　　高齢会員　713名

2. 会員の移動
　新入会員　171名（本年度卒業生 170名 他 1名）
　逝去会員　126名
　退会会員　1名

3. 会議
　総会　1回
　理事会　6回
　評議員会　1回
　常任理事会　6回
　同窓会創立80周年記念募金実行委員会並びに全国支部長会　1回
　役員打合会　15回
　東歯関係日歯役員，代議員，都道府県歯会長懇談会　3回
　各種委員会等　63回
　全国歯科大学同窓，校友会懇話会　2回
　卒後研修セミナー　7回

4. 役員出張　82回

5. 支部数　112支部

6. 地域支部連合会数　11支部連合会
　北海道地域，東北地域，関東地域，東京地域，信越地域，東海地域，北陸地域，近畿地域，中国地域，四国地域，九州地域（含沖縄）

7. 会務報告

昭和55年
10月2日　高山紀斎先生墓地改修供養　河邊会長参列
4日　会計監査
　（監査）滝，高木監事
　（立会）河邊会長，安嶋副会長，関口(敏)，福本，津島，菊池理事
13日　卒後研修特別委員会（企画小委員会）
14日　卒後研修セミナー講師打合会
14日　会報第196号発送
15日　広報部委員会（会報編集）
16日　役員打合会（総務，会計担当理事）
17日　兵庫県歯科医師会創立80周年記念式典　井上名誉会長列席
17日　いそむ会創立30周年記念祝賀会　伊丹副会長列席
17日　卒後研修セミナー講師打合会
18日　北陸地域支部連合会総会　伊丹副会長，中久喜，白崎理事出張
18日　四国地域支部連合会総会　安嶋副

会長，杉山，馬嶋理事出張

18日　名誉会員故神野長太郎氏葬儀　菊池理事参列

19日　埼玉県支部総会　阿部副会長出張

21日　常任理事会

22日　卒後研修特別委員会（会計小委員会）

24日　第9回ゴルフ大会　板垣副会長出張

25日　九州地域支部連合会総会　阿部副会長，佐々木，野上理事出張

28日　卒後研修セミナー講師打合会

29日　卒後研修特別委員会（合同）

31日　卒後研修セミナー講師打合会

11月3日　青森県支部総会　板垣副会長出張

4日　会報第197号発送

4日　卒後研修セミナー講師打合会

6日　卒後研修特別委員会（企画小委員会）

8日　卒後研修セミナー講師打合会

9日　全国歯科大学同窓，校友会懇話会　河邊会長，伊丹副会長，熱田，天野理事出張

13日　卒後研修セミナー講師打合会

15日　鳥取県支部総会　安嶋副会長出張

16日　東京地域支部連合会総会　阿部副会長出張

16日　関東地域支部連合会総会　河邊会長，関口(敏)，荒井理事出張

16日　顧問，名誉会員故入江義次氏葬儀　板垣副会長参列

18日　卒後研修特別委員会（モニターリング小委員会）

21日　理事会

22日　昭和55年度評議員会，第80回定時総会開催（午前9時，於白金プリンス迎賓館）

○昭和55年度諸報告，昭和56年度諸議案何れも原案通り可決確定

○役員補充により副会長に正岡健夫氏選任される。

○常任理事関口恵造氏辞任される。

○叙勲，褒章受章者顕彰者(敬称略)　諏訪亮平，菅田晴山，岡本　治，高木　昂，池淵重蔵，森下壽夫，大田清美，清水信元，高橋謙作，榊原政雄，西山孝雄，穂積藤雄，猪子壽一（以上13名）

23日　近畿地域支部連合会総会　河邊会長，溝上，林理事出張

23日　評議員故小林与兵衛氏葬儀　安嶋副会長参列

25日　広報部委員会（会報編集）

28日　大学幹部，卒後研修特別委員会委員との懇談会　河邊会長他役員出席

29日　愛媛県支部総会　馬嶋理事出張

29日　神奈川県支部連合同窓会総会　阿部副会長出張

29日　大森支部総会　熱田理事出張

12月1日　卒後研修セミナー講師打合会

4日　父兄会懇談会　河邊会長出席

6日　茨城県支部総会　中久喜理事出張

7日　千葉県支部総会　河邊会長，杉山，浜野理事出張

9日　京橋支部総会　河邊会長出張

11日　日本橋支部総会　河邊会長出張

13日　浅草支部総会　伊丹副会長出張

13日　山梨県支部総会　阿部副会長出張

13日　元東京都歯科医師会長，元本所歯科医師会長故入江義次氏合同葬儀　河邊会長他役員参列

13日　理事会

16日　広報部委員会（会報編集）

19日　東歯関係日歯役員，代議員，都道府県歯会長懇談会　河邊会長他役員出席

22日　卒後研修特別委員会（モニターリング小委員会）

24日　大学支部総会　阿部副会長出席

25日　会報第198号発送

昭和56年

1月5日　新年交歓会　河邊会長，井上名誉

会長他役員出席
9日　卒後研修セミナー講師打合会
10日　浅草，下谷支部合同懇談会　河邊会長出張
14日　千代田，麹町支部合同懇談会　伊丹副会長出張
15日　岡山県支部総会　河邊会長出張
15日　東京医科歯科大学歯科同窓会名刺交換会　安嶋副会長出席
16日　卒後研修特別委員会（モニターリング小委員会）
16日　芝支部懇談会　阿部副会長出張
17日　世田谷支部懇談会　河邊会長出張
20日　広報部委員会（会報編集）
20日　卒後研修セミナー委託研究関係打合会
21日　常任理事会
22日　大森支部懇談会　河邊会長出張
24日　卒後研修セミナー（開講）　河邊会長他役員出席
24日　杉並支部懇談会　中久喜理事出張
24日　京北歯科同窓会懇談会　井上名誉会長出張
26日　学術部委員会（進学指導セミナー担当）
26日　卒後研修セミナー講師打合会
28日　卒後研修セミナー講師打合会
29日　役員打合会（共済部担当理事）
31日　愛知県支部連合同窓会総会　河邊会長，熱田，伊藤理事出張
31日　宮城県支部長故丸森源七郎氏葬儀　安嶋副会長参列

2月5日　進学指導セミナー講師打合会
6日　役員打合会（共済部担当理事）
6日　卒後研修セミナー講師打合会
13日　卒後研修特別委員会（合同）
16日　役員打合会（会長，副会長(在京)，総務担当理事，各部代表担当理事）
18日　広報部委員会（会報編集）
20日　理事会
20日　同窓会役員，教授団との懇談会
21日　高橋謙作先生叙勲祝賀会　伊丹副会長列席
21日　卒後研修セミナー（第2回）
22日　三重県支部総会　安嶋副会長出張
24日　卒後研修特別委員会（モニターリング小委員会）
24日　荒川支部総会　中久喜理事出張

3月5日　役員打合会（会長，副会長(在京)，総務担当理事，各部代表担当理事）
6日　共済部委員会
10日　卒後研修特別委員会（企画）
11日　広報部委員会（会報編集）
13日　新入会員オリエンテーション　福本，中久喜，津島，溝上理事出席
14日　第86回卒業証書授与式　河邊会長他役員列席
17日　常任理事会
18日　東歯関係日歯役員，代議員，都道府県歯会長懇談会　河邊会長他役員出席
20日　大分県支部総会　河邊会長出張
20日　卒後研修特別委員会（モニターリング小委員会）
20日　前青森県支部長故浅田喜三郎氏葬儀　板垣副会長参列
23日　卒後研修特別委員会（企画小委員会）
25日　第31回歯科衛生士専門学校卒業式　河邊会長列席
25日　会報第199号発送
28日　卒後研修セミナー（第3回）
29日　中信支部総会　伊丹副会長出張
30日　役員打合会（共済部担当理事）
31日　卒後研修特別委員会（企画作業小委員会）

4月4日　東京歯科大学入学式　河邊会長列席
8日　広報部委員会（会報編集）
9日　卒後研修セミナー講師打合会
11日　神奈川県支部連合同窓会臨時総会　伊丹副会長出張
13日　卒後研修特別委員会（企画作業小委員会）

13日　役員打合会（共済部担当理事）
16日　卒後研修特別委員会（モニターリング小委員会）
18日　卒後研修セミナー（第4回）
18日　四国地域支部連合会総会　伊丹，正岡副会長，馬嶋理事出張
25日　卒後研修セミナー講師打合会
25日　理事会
30日　卒後研修特別委員会（企画小委員会）

5月9日　全国歯科大学同窓，校友会懇話会　河邊会長他役員出張
11日　会報第200号発送
13日　学術部委員会（進学指導セミナー担当）
14日　本所支部懇談会　河邊会長，熱田理事出張
15日　四谷支部総会　安嶋副会長出張
16日　小石川支部懇談会　中久喜，津島理事出張
16日　宮城県支部総会　板垣副会長出張
16日　福岡県支部総会　安嶋副会長出張
18日　卒後研修特別委員会（モニターリング小委員会）
19日　常任理事会
20日　卒後研修特別委員会（企画小委員会）
23日　卒後研修セミナー（第5回）
23日　卒後研修セミナー（モニター，モニターリング小委員会委員懇談会）
25日　卒後研修特別委員会（企画作業小委員会）
27日　広報部委員会（会報編集）
28日　京橋支部懇談会　河邊会長出張
29日　葛飾支部総会　阿部副会長出張
30日　東京都歯科医師会元会長故酒井撰一氏葬儀　河邊会長参列
30日　父兄会総会　河邊会長出席

6月1日　卒後研修特別委員会（企画作業小委員会）
4日　西多摩支部懇談会　河邊会長，福本理事出張
7日　東京地域支部連合会臨時総会　河邊会長出張
9日　卒後研修特別委員会(企画委員会)
13日　信越地域支部連合会総会　河邊会長，菊池，清水理事出張
13日　東北地域支部連合会総会　板垣副会長，福本，嶋中理事出張
15日　卒後研修セミナー（モニターリング小委員会）
15日　広報部委員会（会報編集）
15日　学術部委員会（進学指導セミナー担当）
16日　役員打合会（副会長(在京)，総務部担当理事）
17日　麻布赤坂支部懇談会　中久喜，津島理事出張
20日　卒後研修セミナー（第6回）
20日　福島県支部総会　安嶋副会長出張
20日　会報第201号発送
21日　埼玉県支部総会　伊丹副会長出張
22日　役員打合会（会長，副会長(在京)，総務，渉外，学術部担当理事）
24日　常任理事会
25日　学術部委員会
27日　静岡県支部総会　井上名誉会長，阿部副会長出張
27日　北海道地域支部連合会総会　板垣副会長，松川理事出張
27日　新潟大学歯学部同窓会10周年記念式典　清水理事列席
27日　名誉会員故佐々木重衛門氏葬儀　井上名誉会長参列
27日　秋田県支部総会　杉山理事出張
30日　卒後研修特別委員会（合同）

7月3日　学術部委員会（進学指導セミナー担当），講師との打合会
4日　理事会
7日　法人役員，大学教員懇談会　河邊会長出席
10日　卒後研修特別委員会（企画小委員会）

11日　卒後研修セミナー（最終日閉講）河邊会長出席
13日　広報部委員会（会報編集）
16日　役員打合会（共済部担当理事）
18日　愛媛県支部総会　河邊会長出張
21日　常任理事会
25日　岡山，兵庫県支部合同懇談会　伊丹副会長出張
8月5日　役員打合会（共済部担当理事）
19日　役員打合会（共済部担当理事）
21日　役員打合会（会計部担当理事）
27日　役員打合会（会長，副会長(在京)，総務部担当理事　各部代表担当理事）
28日　卒後研修特別委員会（企画作業小委員会月）
9月1日　東京歯科大学千葉病院開院式および東京歯科大学千葉校舎開校式河邊会長参列
3日　役員打合会（総務，会計，共済部担当理事）
5日　卒後研修特別委員会（合同）
10日　卒後研修特別委員会（企画作業小委員会）
16日　会報第202号発送
16日　広報部委員会（会報編集）
16日　卒後研修特別委員会（企画作業小委員会）
19日　理事会
19日　同窓会創立80周年記念募金実行委員会並びに全国支部長会
20日　横浜北部支部懇談会　河邊会長，溝上理事出張
24日　東歯関係日歯役員，代議員，都道府県歯会長懇談会　河邊会長，他役員出席
26日　関東地域支部連合会総会　河邊会長，熱田，荒井理事出張
28日　卒後研修特別委員会（企画作業小委員会）

顕彰状並びに記念品贈呈者名簿

（昭和56年11月6日）

（昭和56年1月1日叙勲）　（敬称略）

勲五等瑞宝章	田中健之助	〒857	長崎県佐世保市谷郷町2—15

（昭和56年春の叙勲）

勲四等瑞宝章	掛場久精	〒070	北海道旭川市神居三条5—403
勲五等双光旭日章	岩本健介	〒820	福岡県飯塚市吉原町12—3
勲五等瑞宝章	宮下清	〒116	東京都荒川区荒川1—41—9
勲五等瑞宝章	青木勝二	〒939-11	富山県高岡市戸出町2—7—11
勲五等瑞宝章	枝要司	〒300-44	茨城県真壁郡真壁町大字真壁384—8
勲五等瑞宝章	宮下寅之進	〒285	千葉県佐倉市内新町59
勲五等瑞宝章	吉崎久	〒856	長崎県大村市西本町478
勲五等瑞宝章	菅野将雄	〒964	福島県二本松市亀谷1—249—2
勲五等瑞宝章	神崎正	〒286-01	千葉県成田市大清水1343

（昭和56年春の褒章）

紺綬褒章	佐藤一	〒792	愛媛県新居浜市若水町2—5—30

（昭和56年秋の叙勲）

勲二等瑞宝章	松宮誠一	〒167	東京都杉並区荻窪3—41—25
勲四等瑞宝章	田中益穂	〒380	長野県松本市大字寿小赤1,031—3
勲五等双光旭日章	浜田謹之助	〒899-43	鹿児島県国分市中央2—3—24

勲五等双光旭日章	中川六男	〒406	山梨県東八代郡石和町市部1,022
勲五等双光旭日章	高橋統男	〒990	山形県山形市七日町3—5—38
勲五等瑞宝章	小泉徳三	〒230	神奈川県横浜市鶴見区生麦1—10—2
勲五等瑞宝章	村松富次郎	〒409-36	山梨県西八代郡市川大門町1,336
勲五等瑞宝章	杉山禄七郎	〒410-32	静岡県田方郡天城湯ヶ島町湯ヶ島240

（昭和56年秋の褒章）

藍綬褒章	辻村松一	〒515	三重県松阪市愛宕町1—15—1
藍綬褒章	奥瀬馨	〒030	青森県青森市松森佃141
藍綬褒章	菊池文雄	〒321-42	栃木県芳賀郡益子町益子988

（昭和56年度日歯政連褒章受章者）

功績章	井上眞	〒155	東京都世田谷区代沢3—23—19
功績章	鈴木貞一	〒103	東京都中央区日本橋馬喰町2—2—17
功績章	田中益穂	〒380	長野県松本市大字寿小赤1,031—3

（以上　25名）

逝　去　会　員

○昭和55年10月１日より昭和56年９月30日までに逝去された会員は次の通りです。（敬称略）

宮沢五助（北信）　竹下忠平（静岡）　大谷勘（芝）　山近憲之（福岡）　木田金松（京橋）　浜田薫明（高知）　高木錡（千葉）　清宮辰雄（埼玉）　郷土立夫（西湘）　鈴木徳次（横浜南部）　水上久治（島根）　白木三五八（岐阜）　稲垣瑞次（東三河）　矢口甚（茨城）　佐々木栄一（横浜鶴見）　池部宗弘（三重）　大川茂雄（玉川）　宮山尚（茨城）　安留静夫（兵庫）　松本賢治（千葉）　柿原斌足（大阪）　江藤財吉（世田谷）　中村忠雄（茨城）　中田尚（石川）　熊野千太郎（鳥取）　加藤正明（岐阜）　望月弘章（静岡）　芦沢悠（中信）　早川松三郎（横浜北部）　三村勝隆（広島）　平野清春（三重）　大曽根晋夫（世田谷）

相原元（山梨）　鈴木央（豊島）　金子保（本郷）　金内光夫（秋田）　小林与兵衛（山形）　山内馨児（秋田）　高原寛五（山梨）　山本広夫（函館）　田村元（札幌）　柴崎佐平（中野）　大塚久（埼玉）　渡辺市三（南信）　西村禎祐（東三河）　増田勲（札幌）　宿沢直憧（山梨）　廣瀬宗太郎（兵庫）　牟礼信弥（京都）　廣田定爾（福岡）　村井斧介（横浜北部）　三宅敏夫（福井）　荒木長之助（小樽）　壽谷良雄（淀橋）　清水東三（茨城）　中川熊雄（熊本）　山口周一（京都）　藤村義人（福岡）　金井利雄（大森）　橘高一彦（広島）　高久勇（福島）　久保田謙次郎（愛媛）　宇田隆徳（奈良）　水野茂夫（西湘）

神野長太郎（川崎）　鈴木公重（品川）　佐藤昭（芝）　入江義次（本所）　小沢瑛太郎（静岡）　大坪隆壽（練馬）　柏村毅（広島）　服部基一（尾張）　渡辺甚一（千代田）　丸森源七郎（宮城）　小野冨太郎（日本橋）　山田幸喜（千葉）　橋本信義（中野）　酒井照義（浅草）　西尾昌（静岡）　三羽邦定（富山）　野田象（横浜北部）　和田政次郎（大阪）　坪井源透（佐賀）　根本忠義（千葉）　杉本昇三（山梨）　中川周三（兵庫）　福島孝雄（川崎）　中野正甫（東三河）　土岐実（空知）　鶴丸光次（佐賀）　西尾晋（杉並）　原田栄三（広島）　鈴木昇（新潟）　高坂昇三（横須賀鎌倉）　佐藤増治（山形）

岸昌平（横浜北部）　秋庭美津男（鳥取）　村木正夫（三重）　土田専一（兵庫）　若月武夫（山梨）　友寄英彦（沖縄）　鈴木与一郎（福島）　梅津桂吉（山形）　宮田信次（鳥取）　岡田琢治（大阪）　石井定省（鳥取）　堀内薫（杉並）　小荒川銀行（江戸川）　浅田喜三郎（青森）　酒井揆一（武蔵野）　山本五郎（尾張）　福富金吾（下谷）　添島義正（熊本）　中西行一（大森）　北村昭生（青森）　成田忠直（青森）　宮本廉二（横浜中央）　近岡恒雄（石川）　佐々木重衛門（京橋）　新井守三（岐阜）　大森清弘（大学）　多田丈夫（滋賀）　大須賀彦一（東三河）　庵原義一（静岡）　平山輝臣（熊本）　徳永千之（福岡）

（届出順）以上 126名

昭和56年度東京歯科大学同窓会共済部報告

昭和55年８月30日～昭和56年９月30日

昭和55年

８月	佐賀県支部	佐藤	曄	床上浸水
12月	山口県支部	中川	武一	家屋全焼
12月	山口県支部	中川	祐策	家屋全焼

昭和56年　（敬称略）

６月	石川県支部	志村	忠一	家屋全焼
６月	三重県支部	門脇	俊太	家屋半焼
８月	新潟県支部	星	藤哉	床上浸水

○火災，水害による罹災会員に共済規程により見舞金を贈呈した会員は次の通りです。（敬称略）

佐藤　曄（佐賀県）　志村忠一（石川県）　中川武一（山口県）
門脇俊太（三重県）　中川祐策（山口県）　星　藤哉（新潟県）

○昭和55年10月１日より昭和56年９月30日までに弔慰金を贈呈した会員は次の通りです。（敬称略）

新谷武敏（愛媛）　興津義雄（千葉）　田中保吉（札幌）　榎本昌憲（静岡）
長井頼道（芝）　小倉亮（四谷）　長山参三（埼玉）　宮沢五助（北信）
相原元（山梨）　神野長太郎（川崎）　岸昌平（横浜北部）　竹下忠平（静岡）
鈴木央（豊島）　秋庭美津男（鳥取）　大谷勘（芝）　佐藤昭（芝）
村木正夫（三重）　山近憲之（福岡）　金内光夫（秋田）　入江義次（本所）
土田専一（兵庫）　木田金松（京橋）　小林与兵衛（山形）　小沢瑛太郎（静岡）
若月武夫（山梨）　浜田薫明（高知）　山内馨児（秋田）　大坪隆壽（練馬）
高木錨（千葉）　高原寛五（山梨）　柏村毅（広島）　鈴木与一郎（福島）
清宮辰雄（埼玉）　服部基一（尾張）　梅津桂吉（山形）　郷土文夫（西湘）
田村元（札幌）　渡辺甚一（千代田）　宮田信次（鳥取）　鈴木徳治（横浜南部）
丸森源七郎（宮城）　岡田琢治（大阪）　水上久治（島根）　大塚久（埼玉）
小野冨太郎（日本橋）　石井定省（鳥取）　白木三五八（岐阜）　渡辺市三（南信）
山田幸喜（千葉）　堀内薫（杉並）　稲垣瑞次（東三河）　西村禎祐（東三河）
橋本信義（中野）　小荒井銀行（江戸川）　矢口甚（茨城）　増田勲（札幌）
酒井照義（浅草）　浅田喜三郎（青森）　宿沢直憧（山梨）　西尾昌（静岡）
酒井揆一（武蔵野）　池部宗弘（三重）　廣瀬宗太郎（兵庫）　三羽邦定（富山）
山本五郎（尾張）　野田象（横浜北部）　福富金吾（下谷）　宮山尚（茨城）
廣田定爾（福岡）　和田政次郎（大阪）　添島義正（熊本）　安留静夫（兵庫）
村井斉介（横浜北部）　坪井源透（佐賀）　中西行一（大森）　三宅敏夫（福井）
根本忠義（千葉）　北村昭生（青森）　柿原斌足（大阪）　荒木長之助（小樽）
杉本昇三（山梨）　成田忠直（青森）　江藤財吉（世田谷）　壽谷良雄（淀橋）
中川周三（兵庫）　宮本廉二（横浜中央）　中村忠雄（茨城）　清水東三（茨城）
福島孝雄（川崎）　近岡恒雄（石川）　中田尚（石川）　中川熊雄（熊本）
中野正甫（東三河）　佐々木重衛門（京橋）　熊野千太郎（鳥取）　土岐実（空知）
新井守三（兵庫）　加藤正明（岐阜）　藤村義人（福岡）　大森清弘（大学）
望月弘明（静岡）　金井利雄（大森）　西尾晋（杉並）　多田丈夫（滋賀）
芦沢悠（中信）　橘高一彦（広島）　原田栄三（広島）　大須賀彦一（東三河）
早川松三郎（横浜北部）　高久勇（福島）　鈴木昇（新潟）　庵原義一（静岡）
三村勝隆（広島）　高坂昇三（横須賀鎌倉）　宇田隆徳（奈良）　以上 115名

昭和55年度　東京歯科大学同窓会経常部収支決算書

（自 昭和55年1月1日～ 至 昭和55年12月31日）

（収 入 の 部）　　△印＝予算額に比較し減額の場合

科　　目	予 算 額	決 算 額	差　　異	摘　　要
会　　費	63,252,000	61,169,100	△ 2,082,900	昭和36～39年度　700円×　43人 〃 40～42年度1,200円×　46人 〃 43～47年度1,700円×　130人 〃　48年度3,200円×　44人 〃　49年度3,500円×　52人 〃　50年度6,000円×　81人 〃　51年度7,000円×　102人 〃　52年度8,000円×　126人 〃　53年度8,000円×　148人 〃　54年度8,000円×　836人 〃　55年度10,000円×5,046人
入　会　金	920,000	815,000	△ 105,000	新卒 5,000円×163人
雑　収　入	1,150,000	1,218,035	68,035	広告料，利息，その他
研修会等収入	10,000	0	△ 10,000	
助　成　金	1,000,000	1,000,000	0	
前年度繰越金	9,500,000	18,245,703	8,745,703	三菱普通　12,908,195 三菱定期　5,320,000 郵便振替　17,508
合　　計	75,832,000	82,447,838	6,615,838	

（支 出 の 部）

科　　目	予 算 額	決 算 額	差　　異	摘　　要
事　務　費	44,485,000	37,994,363	△ 6,490,637	
給　与　費	14,900,000	14,895,701	△ 4,299	
旅費交通費	18,000,000	12,538,262	△ 5,461,738	
通　信　費	800,000	540,601	△ 259,399	
電　話　料	550,000	527,660	△ 22,340	
印　刷　費	950,000	1,111,012	161,012	
消耗品費	180,000	196,649	16,649	
渉　外　費	2,000,000	2,000,214	214	
交　際　費	1,800,000	1,784,270	△ 15,730	
慶　弔　費	1,300,000	1,200,000	△ 100,000	
海外出張補助費	500,000	250,000	△ 250,000	
集金手数料	3,175,000	2,695,400	△ 479,600	
雑　　費	330,000	254,594	△ 75,406	

科目	予算額	決算額	差異	摘要
事業費	20,520,000	18,497,574	△ 2,022,426	
会報発行費	18,590,000	17,437,494	△ 1,152,506	
研修会等学術関係	700,000	280,200	△ 419,800	
会合費	450,000	263,380	△ 186,620	
講師派遣旅費	400,000	100,000	△ 300,000	
雑費	380,000	416,500	36,500	
会議費	3,600,000	2,771,614	△ 828,386	
役員会	600,000	518,284	△ 81,716	
評議員会・支部長会	1,900,000	2,253,330	△ 646,670	
総会費	1,000,000			
雑費	100,000	0	△ 100,000	
予備費	3,007,000	0	△ 3,007,000	
特別会計への繰入	4,220,000	4,115,000	△ 105,000	
同窓会基金	920,000	815,000	△ 105,000	
血脇記念基金	100,000	100,000	0	
名簿積立金	3,000,000	3,000,000	0	
退職積立金	200,000	200,000	0	
小計	75,832,000	63,378,551	△ 12,453,449	
次年度繰越金		19,069,287	19,069,287	三菱普通 8,731,779 三菱定期 10,320,000 振替預金 17,508
合計	75,832,000	82,447,838	6,615,838	

昭和55年度東京歯科大学同窓会同窓会基金収支決算書

（自 昭和55年1月1日～至 昭和55年12月31日）

収入			支出		
科目	金額	摘要	科目	金額	摘要
経常部より	815,000	入会金			
雑収入	677,361	利息			
		三菱普通 107,934			三菱普通 25,069
前年度繰越金	12,520,629	三菱定期 4,797,371	次年度繰越金	14,012,990	三菱定期 5,900,000
		安田貸付信託 5,360,000			安田貸付信託 5,360,000
		安田金銭信託 2,255,324			安田金銭信託 2,727,921
合計	14,012,990		合計	14,012,990	

昭和55年度　東京歯科大学同窓会血脇記念基金収支決算書

（自 昭和55年１月１日～至 昭和55年12月31日）

収入			支出		
科目	金額	摘要	科目	金額	摘要
経常部より	100,000				
雑収入	91,195	利息			
前年度繰越金	2,020,900	三菱普通 203,296 三菱定期 1,817,604	次年度繰越金	2,212,095	三菱定期 2,212,095
合計	2,212,095		合計	2,212,095	

昭和55年度　東京歯科大学同窓会共済基金収支決算書

（自 昭和55年１月１日 至～昭和55年12月31日）

収入			支出		
科目	金額	摘要	科目	金額	摘要
共済負担金	20,807,800	昭和36～42年度 300円× 89人 昭和43～48年度 800円×182人 昭和49～51年度 1,500円×267人 昭和52～53年度 2,000円×315人 昭和54年度 3,000円×929人 昭和55年度 3,000円×5,606人	共済金	21,710,000	1) 弔慰共済金 20,710,000 18万円×110人 15万円× 2人 10万円× 5人 6万円× 1人 5万円× 1人 2) 罹災共済金 1,000,000 18万円× 5人 10万円× 1人
寄付金	0		事務費	156,766	通信費その他
雑収入	439,882	利息	予備費	0	
前年度繰越金	10,596,024	三菱普通 2,795,061 三菱定期 6,000,000 安田貸付信託 1,000,000 安田金銭信託 800,963	次年度繰越金	9,976,940	三菱普通 3,082,031 三菱定期 5,000,000 安田貸付信託 1,000,000 安田金銭信託 894,909
合計	31,843,706		合計	31,843,706	

昭和55年度　東京歯科大学同窓会名簿積立金収支決算書

（自 昭和55年１月１日～至 昭和55年12月31日）

収入			支出		
科目	金額	摘要	科目	金額	摘要
経常部より	3,000,000				
雑収入	46,578	利息			
前年度繰越金	1,444,604	三菱普通 144,604 三菱定期 1,300,000	次年度繰越金	4,491,182	三菱普通 41,182 三菱定期 4,450,000
合計	4,491,182		合計	4,491,182	

昭和55年度　東京歯科大学同窓会退職積立金収支決算書

（自 昭和55年１月１日～至 昭和55年12月31日）

収入			支出		
科目	金額	摘要	科目	金額	摘要
経常部より	200,000		退職金	371,840	事務員松川栄子 (55.3.31 退職)
雑収入	28,116	利息			
前年度繰越金	1,709,283	三菱普通 309,283 三菱定期 1,400,000	次年度繰越金	1,565,559	三菱普通 215,559 三菱定期 1,350,000
合計	1,937,399		合計	1,937,399	

昭和55年度　東京歯科大学同窓会同窓会創立80周年記念募金事業特別会計収支決算書

（東京歯科大学施設整備資金募金）

（自 昭和55年１月１日～至 昭和55年12月31日）

収入			支出		
科目	金額	摘要	科目	金額	摘要
前年度繰越金	5,458,391	三菱普通 5,458,391	募金諸費	3,117,900	旅費交通費 2,688,360 通信費 47,940 印刷費 59,100 会合費 292,850 消耗品費 9,450 雑費 20,200
雑収入	81,848	利息	予備費	0	
			次年度繰越金	2,422,339	三菱普通 2,422,339
合計	5,540,239		合計	5,540,239	

昭和55年度　東京歯科大学同窓会財産目録

昭和55年12月31日 現在

1. 備品（購入価格３万円以上）

	品　　目	数　量	購入年月	購入価格	備　　考
1.	フ　ー　タ　ー	1	46. 4	99,000	
2.	宛名印刷機	1	51. 8	485,000	
3.	冷　蔵　庫	1	54. 6	84,000	
4.	ルームクーラー	1	54. 7	372,800	
5.	タイプライター	1	54. 12	232,000	
計	5 品目			1,272,800	

（耐用年数10年を経過）

	品　　目	数　量	購入年月	購入価格	備　　考
1.	金　庫	1	42. 12		寄　贈
2.	ポラロイドカメラ	1	42. 10	80,000	
3.	スライド映写機	2 { 1	42. 10	44,000	
		2 { 1	42. 10	44,000	
4.	ナショナルWXアンプ	1	44. 1	71,300	
5.	二　重　戸　棚	2 { 1	45. 9	38,000	
		2 { 1	45. 9	38,000	
計	7 品目	7		316,500	

2. 定期預金，普通預金

会計区分	種　類	預金現在高	取引銀行名
(1) 経　常　部	定期預金	320,000	三菱銀行　神保町支店
	〃	5,000,000	〃
	〃	5,000,000	〃
	普通預金	3,721,779	〃
	振替預金	17,508	東京地方貯金局
小　計		14,059,287	

会計区分	種類	預金現在高	取引銀行名
(2) 同窓会基金	定期預金	900,000	三菱銀行　神保町支店
	〃	5,000,000	〃
	普通預金	25,069	〃
	貸付信託	5,360,000	安田信託銀行　神田支店
	金銭信託	2,727,921	〃
小計		14,012,990	
(3) 血脇記念基金	定期預金	2,212,095	三菱銀行　神保町支店
(4) 共済基金	定期預金	2,000,000	三菱銀行　神保町支店
	〃	2,000,000	〃
	〃	1,000,000	〃
	普通預金	1,709,331	〃
	貸付信託	1,000,000	安田信託銀行　神田支店
	金銭信託	894,909	〃
小計		8,604,240	
(5) 名簿積立金	定期預金	1,450,000	三菱銀行　神保町支店
	〃	3,000,000	〃
	普通預金	41,182	〃
小計		4,491,182	
(6) 退職金積立金	定期預金	1,350,000	三菱銀行　神保町支店
	普通預金	215,559	〃
小計		1,565,559	
(7) 同窓会創立80周年記念募金	普通預金	2,422,339	三菱銀行　神保町支店
合計		47,367,692	

監　査　報　告

昭和55年度東京歯科大学同窓会経常部収支決算書，特別会計収支決算書，（即ち，同窓会基金決算，血脇記念基金決算，共済基金決算，名簿積立金決算，退職積立金決算，同窓会創立80周年記念募金事業決算）及び財産目録につき諸帳簿，証憑書類を監査した結果適正に処理されていることを認めます。

昭和56年10月3日

監　事　滝　　義　胤　㊞

監　事　高　木　圭二郎　㊞

昭和57年度　事　業　計　画

総　務　部

1. 諸会合の準備と調整並びに運営を行う
2. 会員の入退会の迅速なる確認を行い，かつ会員現況の把握並びに名簿の補充完備を図る。
3. 母校，父兄会，学生会との連携を図る。

会　計　部

1. 経常部および特別会計収支予算の適正なる運用を図る。
2. 会費，負担金，その他の費用の収納に努め，預金，現金，備品等の適正なる管理を図る。

渉　外　部

1. 各歯科大学同窓会との交流を図り，一層緊密なる友好を深める。
2. 同窓会員の歯科医政関係者と緊密な連携を保ち懇談会などを開催し医政の推進を図る。

学　術　部

1. 学術委員会の機能を強化して，企画運営の向上を図る。
2. 東京歯科大学の協力のもとにＴＤＣ卒後研修セミナーを系統的に開催する。
3. 学術講演会等を開催する。
4. 同窓の母校一日入学を斡旋する。

広　報　部

1. 会報を年６回発行し，会員との情報交換を図る。

共　済　部

1. 共済制度の健全なる運営と内容の充実を図る。

昭和36年度～昭和39年度に至る，会費，共済負担金の収納状況

1. 会費未収納の状況（昭和56. 9. 1 現在）

区　分	関係支部	会　費（１人当）	支部会員			支部に属しない会員			合　計		
			対象人員	未納件数	未収納額	対象人員	未納件数	未収納額	対象人員	未納件数	未収納額
		円	(48)			(144)			(192)		
昭56. 3.18現在（未　収　納）	86	700	304	692	484,400	216	713	499,100	520	1,405	983,500
			(5)			(4)			(9)		
昭56. 3. 19～8. 31の間（収納）	14	700	35	57	39,900	6	18	12,600	41	75	52,500
			(43)			(140)			(183)		
昭56. 9. 1現在（未　収　納）	86	700	270	635	444,500	210	695	486,500	480	1,330	931,000

（註）(1)（ ）内数字は昭36年度～昭39年度まで未納会員数の再掲

(2) 支部会員対象人員……昭和56. 3. 19～8. 31の間（収納）35名中１名は一部未納の会員を含む。

2. 共済負担金未収納状況（昭和56. 9. 1 現在）

区分	関係支部	共済負担金（1人当）	支部会員			支部に属しない会員			合計		
			対象人員	未納件数	未収納額	対象人員	未納件数	未収納額	対象人員	未納件数	未収納額
		円	(48)			(144)			(192)		
昭56. 3.18現在（未収納）	86	300	304	692	207,600	216	713	213,900	520	1,405	421,500
			(5)			(4)			(9)		
昭56, 3.19～8.31の間（収納）	14	300	35	57	17,100	6	18	5,400	41	75	22,500
			(43)			(140)			(183)		
昭56. 9. 1現在（未収納）	86	300	270	635	190,500	210	695	208,500	480	1,330	399,000

（註）

前記同様

3. 昭和36年度～39年度当時の会員数と会費，共済負担金収納状況（推計）

1) 会費収納（推計）状況

区分	会員数（延人員）		金額	摘要
	会員数	構成比		
	人	%		
昭36年度～39年度（収納見込）	29,638	100	20,746,600	会費
昭 56. 3.17 以前（収納推計）	28,233	95.3	19,763,100	（1人当 700円）
昭 56. 3.18 現在（未収納）	1,405	4.7	983,500	
昭 56. 3.19～8.31の間（収納）	75	(5%)	52,500	
昭 56. 9. 1 現在（未収納）	1,330	(95%)	931,000	(4.5%)

（註）会員数（延人員）は昭36年度～昭39年度評議員時報告会員数の累計

2) 共済負担金収納（推計）状況

区分	会員数（延人員）		金額	摘要
	会員数	構成比		
	人	%		
昭36年度～39年度（収納見込）	29,638	100	8,891,400	共済負担金
昭 56. 3.17 以前（収納推計）	28,233	95.3	8,469,900	（1人当 300円）
昭 56. 3.18 現在（未収納）	1,405	4.7	421,500	
昭 56. 3.19～8.31の間（収納）	75	(5%)	22,500	
昭 56. 9. 1 現在（未収納）	1,330	(95%)	399,000	(4.5%)

（註）

前記同様

昭和57年度　東京歯科大学同窓会経常部収支予算（案）

（自 昭和57年1月1日～至 昭和57年12月31日）

（収入の部）　　△印＝前年度に比較し減額の場合

科目	昭56年度予算	昭57年度予算案	前年度との比較	摘要
会費	62,529,600	64,905,000	2,375,400	1,200円×50人　8,000円 220人 1,700円×100人　10,000円1,050人 3,200円×50人　10,000円5,130人 3,500円×50人 6,000円×60人　計 6,770人 7,000円×60人
入会金	950,000	835,000	△ 115,000	新卒　5,000円×147人 他　50,000円×2人
雑収入	1,250,000	1,615,000	365,000	利息，問題集売上げ，手数料，その他
研修会等収入	10,000	10,000	0	
助成金	3,000,000	2,000,000	△ 1,000,000	含特別助成金 1,000,000円
前年度繰越金	13,000,000	12,000,000	△ 1,000,000	
合計	80,739,600	81,365,000	625,400	

（支出の部）

科目	昭56年度予算	昭57年度予算案	前年度との比較	摘要
事務費	44,480,000	45,169,000	689,000	
結与費	15,830,000	17,230,000	1,400,000	
旅費交通費	15,900,000	16,700,000	800,000	
福祉厚生費	250,000	250,000	0	
通信費	790,000	750,000	△ 40,000	
電話料	600,000	600,000	0	
印刷費	1,220,000	950,000	△ 270,000	含問題集印刷代
備品購入費	1,100,000	1,000,000	△ 100,000	千葉校舎同窓会室（含水道橋）備品整備
消耗品費	180,000	150,000	△ 30,000	
交際費	2,800,000	1,800,000	△ 1,000,000	
慶弔費	1,350,000	1,560,000	210,000	供花料10,000円を12,000円に改定
海外出張補助費	350,000	300,000	△ 50,000	
集金手数料	3,210,000	3,259,000	49,000	
雑費	900,000	620,000	△ 280,000	
事業費	22,600,000	23,700,000	1,100,000	
広報関係費	19,000,000	19,400,000	400,000	
渉外費	2,000,000	2,500,000	500,000	
研修会等学術関係	600,000	600,000	0	
会合費	500,000	500,000	0	
講師派遣交通費	400,000	300,000	△ 100,000	
雑費	100,000	400,000	300,000	
会議費	3,600,000	3,800,000	200,000	
役員会	600,000	700,000	100,000	
評議員会・支部長会	1,900,000	2,000,000	100,000	
総会費	1,000,000	1,000,000	0	
雑費	100,000	100,000	0	

科　　目	昭年56度予算	昭57年度予算案	前年度との比較	摘　　要
予　備　費	3,089,600	3,161,000	71,400	
特別会計への繰入	6,970,000	5,535,000	△ 1,435,000	
同窓会基金	3,270,000	1,835,000	△ 1,435,000	含特別助成金 1,000,000円
血脇記念基金	100,000	100,000	0	
名簿積立金	3,000,000	3,000,000	0	
退職積立金	600,000	600,000	0	
合　　計	80,739,600	81,365,000	625,400	

昭和57年度　東京歯科大学同窓会同窓会基金収支予算(案)

(自 昭和57年1月1日～至 昭和57年12月31日)

収入の部			支出の部		
科　目	金　額	摘　要	科　目	金　額	摘　要
経常部より	1,835,000	入会金 特別助成金			
雑収入	809,000	利息，その他			
前年度繰越金	16,000,000		繰越金	18,644,000	
合　計	18,644,000		合　計	18,644,000	

昭和55年度　東京歯科大学同窓会血脇記念基金収支予算(案)

(自 昭和57年1月1日～至 昭和57年12月31日)

収入の部			支出の部		
科　目	金　額	摘　要	科　目	金　額	摘　要
経常部より	100,000				
雑収入	100,000	利息，その他	繰越金	2,612,000	
前年度繰越金	2,412,000				
合　計	2,612,000		合　計	2,612,000	

昭和57年度　東京歯科大学同窓会共済基金収支予算（案）

（自 昭和57年1月1日～至 昭和57年12月31日）

収入の部			支出の部		
科目	金額	摘要	科目	金額	摘要
共済負担金	27,675,000	300円× 50人 800円× 150人 1,500円× 180人 2,000円× 170人 3,000円× 270人 4,000円×1,000人 4,000円×5,530人 計 7,350人	共済金	26,000,000	弔慰共済金 24,000,000 （20万円×120人） 罹災共済金 火災風水害地震 2,000,000
寄付金	100		事務費	300,000	
雑収入	300,000	利息，その他	予備費	12,675,100	
前年度繰越金	11,000,000				
合計	38,975,100		合計	38,975,100	

昭和57年度　東京歯科大学同窓会名簿積立金収支予算（案）

（自 昭和57年1月1日～至 昭和57年12月31日）

収入の部			支出の部		
科目	金額	摘要	科目	金額	摘要
経常部より	3,000,000				
雑収入	240,000	利息，その他	繰越金	10,940,000	
前年度繰越金	7,700,000				
合計	10,940,000		合計	10,940,000	

昭和57年度　東京歯科大学同窓会退職積立金収支予算（案）

（自 昭和57年1月1日～至 昭和57年12月31日）

収入の部			支出の部		
科目	金額	摘要	科目	金額	摘要
経常部より	600,000				
雑収入	70,000	利息，その他	繰越金	2,350,000	
前年度繰越金	1,680,000				
合計	2,350,000		合計	2,350,000	

昭和56年度　名誉会員推薦名簿

名誉教授　　河　合　貞　吉（元東京歯科大学化学教授進学課程幹事）

昭和55年度　東京歯科大学同窓会
卒後研修セミナー収支決算書（第5年次）

（自 昭和55年1月1日～至 昭和55年12月31日）

収入の部

△印＝残額

科　目	予算額	決算額	増減額	摘　要
受講料（第5年次）	45,240,000	45,180,000	△ 600,000	本年度収入@12万×235人@6万×272人 44,520,000 前年度収入繰越金振替（前受金）660,000
受講料（第6年次）	0	15,120,000	15,120,000	次年度受講料収入（前受金）@12万×108人@6万×36人 計 15,120,000
雑収入	900,000	1,080,504	180,504	利息，その他
前年度繰越金	23,156,790	23,156,790	0	前年度繰越金23,816,790円の内660,000円第5年次前受金のため受講料収入に振替
合　計	69,296,790	84,537,294	15,240,504	

支出の部

科　目	予算額	決算額	増減額	摘　要
講師謝礼費(A)	5,340,000	4,828,950	△ 511,050	講師延人数　25名
(B)	640,000	666,655	26,655	延人数　31名
資料作成費	870,000	740,000	△ 130,000	延人数　24名
役務費	3,200,000	1,470,800	△ 1,729,200	補助員，その他
事務委託費	1,440,000	1,440,000	0	55／1～55／12
設営費	13,700,000	8,374,726	△ 5,325,274	7回（延日数7日）経団連会館
旅費交通費	11,000,000	7,889,940	△ 3,110,060	
通信費	1,000,000	769,652	△ 230,348	
印刷費	6,000,000	2,934,821	△ 3,065,179	
消耗品費	100,000	54,470	△ 45,530	
資材備品費	600,000	535,250	△ 64,750	
受講証関係費	1,400,000	1,373,400	△ 26,600	
会議費	4,000,000	4,254,246	254,246	
広告費	500,000	231,000	△ 269,000	
雑費	300,000	143,480	△ 156,520	
渉外費	1,000,000	812,040	△ 187,960	
委託研究費	1,800,000	1,800,000	0	
予備費	7,906,790	0	△ 7,906,790	
積立金繰出	8,500,000	8,500,042	42	積立金会計に繰入
次年度繰越金	0	37,717,822	37,717,822	繰越金中第6年次前受金15,120,000円を含む定期（富士銀行）25,000,000円，普通（富士銀行）12,717,382円　郵便振替残高440円
合　計	69,296,790	84,537,294	15,240,504	

昭和55年度　東京歯科大学同窓会卒後研修セミナー積立金

科　　目	予 算 額	決 算 額	増 減 額	摘　　要
卒後研修セミナー会計より繰入	8,500,000	8,500,042	42	日本債券信用銀行渋谷支店 債券 8,491,813円 日本債券信用銀行渋谷支店 普通預金 8,229円（含利息42円）

昭和55年度　東京歯科大学同窓会
進学指導セミナー収支決算書（第8回）

（自 昭和55年1月1日～至 昭和55年12月31日）

（収 入 の 部）　　△印＝減額

科　　目	予 算 額	決 算 額	増 減 額	摘　　要
受 講 料	18,125,000	16,455,000	△ 1,670,000	
Aクラス	15,865,000	14,195,000	△ 1,670,000	@95,000円×167名 （減受講料 @10,000円×167名＝1,670,000円）
Bクラス	2,260,000	2,260,000	0	@20,000円×113名
雑 収 入	920,000	995,635	75,635	利息，その他 347,635 問題集売上 648,000（@6,000円×108組）
前年度繰越金	6,344,295	6,344,295	0	
合　　計	25,389,295	23,794,930	△ 1,594,365	

（支 出 の 部）

科　　目	予 算 額	決 算 額	増 減 額	摘　　要
講師謝礼費	3,600,000	3,600,000	0	
資料作成費	450,000	410,000	△ 40,000	
設 営 費	8,000,000	7,464,630	△ 535,370	Aクラス（16日間）Bクラス（2日間），笹川記念会館
印 刷 費	2,500,000	1,997,888	△ 502,112	
役 務 費	200,000	82,614	△ 117,386	
旅費交通費	2,500,000	1,671,220	△ 828,780	
消 耗 品 費	30,000	66,180	36,180	
会 議 費	1,200,000	1,642,664	442,664	
通 信 費	400,000	232,070	△ 167,930	
雑 費	50,000	51,045	1,045	
問題集作成準備費	1,000,000	0	△ 1,000,000	
予 備 費	5,459,295	0	△ 5,459,295	
次年度繰越金	0	6,576,619	6,576,619	富士定期 5,000,000 富士普通 1,576,619
合　　計	25,389,295	23,794,930	△ 1,594,365	

母校だより

今秋の母校は千葉校舎の竣工や創立90周年の行事に関連した多くの式典や祝賀会，あるいは同窓会の評議員会総会などがあり，これらが10月31日より11月８日までの間に行われたために，これを一括した総合プログラムが作られた。

千葉校舎竣工式・創立90周年記念行事
総合プログラム

記念東歯祭 新しいふれあいの街で＜第13回東歯祭，千葉校舎初の東歯祭＞

10月31日(土) 16：00～18：00 前夜祭……体育館

11月１日(日) 10：30～17：00 展示・フリーマーケット……ラウンジ・セミナー室・進学棟
9：00～17：00 競技会……市川総合グラウンド
13：00～14：30 歯科講演会……第４教室
15：00～17：00 コンサート……体育館

11月２日(月) 10：30～15：30 展示・フリーマーケット……ラウンジ・セミナー室・進学棟
9：00～15：30 競技会……市川総合グラウンド・体育館
18：30～21：00 ダンスパーティー……京王プラザホテル

11月３日(火) 10：30～17：00 展示・フリーマーケット……ラウンジ・セミナー室・進学棟
9：00～17：00 競技会……市川総合グラウンド・体育館
11：00～14：30 映画会……第４教室
15：00～17：00 音楽フェスティバル……進学棟・第５教室

11月４日(水) 10：30～15：00 展示・フリーマーケット……ラウンジ・セミナー室・進学棟
9：00～15：00 競技会……体育館
16：30～19：30 後夜祭……厚生棟前広場

創立90周年記念学会 ＜第214回東京歯科大学学会総会＞

11月４日(水) 13：30～16：30 シンポジウム……第１会場（第１教室）
『歯周疾患の発病と治療』座長　金竹哲也教授
講師　佐藤徹一郎教授　高添一郎教授　山村武夫教授
羽賀通夫教授　関根　弘教授

11月5日(木)　9：00～11：30　一般講演(30題)…第1会場(第1教室)第2会場（第2教室）
9：00～16：00　示説（10題）……第3会場（第2，第3セミナー室）
11：40～12：50　評議員会……第1会場（第1教室）
12：50～13：20　総会……第1会場（第1教室）
13：40～15：30　特別講演……第4会場（講堂）
座長・学会長　松宮誠一教授　副座長　高添一郎教授
『米国における歯学教育の現状』
フロリダ大学歯学部長　Don. L. Allen 教授
『わが大学における歯痛に関する基礎研究』
カロリンスカ大学歯学部長　Lennart Edwall 教授

同窓会関係行事 ＜昭和56年度同窓評議員会，定時総会，懇親会＞

11月6日(金)　10：00～14：30　評議員会……高輪プリンスホテル・プリンスルーム
14：40～15：30　後援会総会……高輪プリンスホテル・プリンスルーム
15：40～17：40　定時総会……高輪プリンスホテル・プリンスルーム
18：00～20：00　懇親会……高輪プリンスホテル・クラウンルーム

千葉校舎竣工式・竣工祝賀パーティー

11月7日(土)　9：00～17：00　受付
10：00～10：40　修祓式……病院棟エントランスホール
11：00～12：30　竣工式……講堂・大教室

竣工式次第

1. 開　会
1. 施主代表挨拶　理事長　鹿島　俊雄
学　長　松宮　誠一
1. 来賓祝辞　参議院議長
文部大臣
厚生大臣
千葉県知事
千葉市々長
日本歯科医師会々長
東京歯科大学同窓会々長
〃　東京歯科大学父兄会々長
〃　千葉県歯科医師会々長
〃　千葉市歯科医師会々長
1. 工事経過報告　理　事　高木圭二郎
1. 感謝状贈呈　鹿島建設株式会社
東京歯科大学同窓会々長
東京歯科大学同窓会名誉会長
千葉校舎建設実行委員会代表
1. 謝　辞　鹿島建設株式会社
1. 閉　会

13：00～15：00　竣工祝賀パーティー……体育館アリーナ・厚生棟前広場

竣工祝賀パーティー次第

1. 開　会
1. 挨　拶　理事長　鹿島　俊雄
学　長　松宮　誠一
1. 乾　杯　同窓会名誉会長　井上　　真
1. 開　宴
1. 閉　会

11：00～17：00　学内見学

創立90周年記念式典祝賀パーティー

11月8日(日)　9：00～17：00　受付

13：00～14：30　記念式典……講堂・大教室

創立90周年記念式典次第

1. 校歌合唱　東京歯科大学合唱部
1. 開会の辞　東京歯科大学副学長
1. 式　辞　学　長　松宮　誠一
1. 挨　拶　理事長　鹿島　俊雄
1. 祝　辞　私立大学連盟会長
　私立歯科大学協会々長
　フロリダ大学歯学部長
　カロリンスカ大学歯学部長
　延世大学校財団理事長
　東京歯科大学同窓会々長
　東京歯科大学父兄会々長
1. 祝電披露
1. 教職員，同窓物故者に黙祷
1. 永年勤続者表彰
1. 法人関係功労者表彰
1. 記念品贈呈
1. 校歌斉唱
1. 万歳三唱
1. 閉会の辞　東京歯科大学同窓会副会長

記念祭歌披露　東京歯科大学合唱部・オーケストラ部

15：00～17：00　祝賀パーティー……体育館アリーナ・厚生棟前広場

創立90周年記念祝賀パーティー次第

1. 開会の辞　東京歯科大学水道橋病院長
1. 挨　拶　東京歯科大学理事長
　東京歯科大学々長
1. 乾　杯　東京歯科大学同窓会々長
1. 祝　辞　フロリダ大学歯学部副学部長
　延世大学校歯科大学々長
　中華人民共和国同窓代表
1. 余　興　学生バンド（含ＯＢ）
1. 閉会の辞　東京歯科大学父兄会副会長

10：00～17：00　学内見学

板倉，高橋の両氏新理事に就任す

学校法人東京歯科大学の第462回理事会及び第137回評議員会が去る6月1日ホテル国際観光に於いて開催され，故田中久兵衛理事の後任として㈱三井銀行相談役の板倉譲治氏及び故入江義次理事の後任として，本学病院長の高橋庄二郎氏が新理事として就任されました。

（板倉譲治氏略歴）

〔生年月日〕明治45年6月3日（69才）
〔本 籍 地〕横浜市港北区篠原北二丁目2423
〔現 住 所〕　〃　二丁目6番8号
〔学　歴〕昭和10年3月慶応義塾大学経済学部卒業
〔職　歴〕昭和10年4月㈱三井銀行入行
昭和46年5月㈱三井銀行専務取締役
昭和49年5月㈱三井銀行取締役社長
昭和53年12月㈱三井銀行相談役(現)
〔賞　罰〕昭和52年10月藍綬褒章受章

（高橋庄二郎氏略歴）

〔生年月日〕大正13年6月30日（57才）
〔本 籍 地〕東京都千代田区神田須田町2丁目19番地3号
〔現 住 所〕東京都世田谷区砧8丁目4番地11号
〔学　歴〕昭和20年9月東京歯科医学専門学校卒業
昭和28年5月医学博士学位受領
〔職　歴〕昭和20年10月東京歯科医専副手
昭和40年12月東京歯科大学口腔外科学教室第2講座主任教授
昭和52年11月東京歯科大学病院院長
昭和56年9月同大学千葉病院病院長

東京歯科大学千葉校舎引渡式行わる

学校法人東京歯科大学は去る７月15日(水)完成なった千葉校舎講堂において鹿島建設㈱から鍵の引渡しを受けた。

当日は法人役員，千葉校舎建設実行委員会委員及び鹿島建設㈱役員が出席し鹿島理事長，松宮学長の挨拶の後鹿島建設㈱の今井副社長の挨拶があり盛大に引渡しの式典が行なわれた。当日より千葉校舎は当大学の管理の下に運営されることになった。

千葉病院開院式行わる

昭和56年９月１日（火）午前９時より千葉病院の開院式が行われた。開院式は病院玄関における鹿島理事長，松宮誠一学長，高木圭二郎副学長および千葉病院高橋庄二郎院長によるテープ・カットと薬玉割りで始まった。次いでエントランスホールにおける理事長，学長および病院長の挨拶があった。この間早朝より当病院の開院を待った患者およそ60名が長い列を作った。ちなみに開院初日に来院した患者は313名であった。

千葉校舎開校式行わる

昭和56年９月１日（火）午前10時より千葉校舎の体育館アリーナにおいて千葉校舎の開校式が行われた。アリーナには進学課程１年生より専門課程３年生までの全学生と専門課程４年生の代表学生が集合し，進・専程の教授をはじめとする教員の列席のもと，金竹学監の司会で松宮誠一学長および鹿島俊雄理事長の挨拶をもって開校式を滞りなく取り行った。また11時からは学生オリエンテーションが行われたが，午後１時からはテレビスタジオと専程の大教室とを結ぶテレビ中継によるオリエンテーションも行われた。

千葉校舎竣工式・竣工祝賀パーティー盛大に挙行さる

去る昭和56年11月７日(土)，３万坪の校地に11棟の校舎，延１万６千坪の建物のある緑豊かな千葉校舎の竣工式が行われた。

肌寒さを感じる小雨の朝であったが，午前９時よりの受付開始で竣工式の一日が始まった。竣工式に先立ち，午前10時より修祓式（清祓式）が行われた。千葉病院のエントランスホールに用意された祭壇脇の竹や標縄も空気を清めていた。エントランスホールに張られた紅白の幕の内には，大学理事，鹿島建設関係者，大学教職員，同窓会役員，学生代表など120名の列席者のもとで，それぞれの代表が神前に進み，関係者ともども二礼二拍手一礼の儀をもって玉串を奉奠した。

関係者の列席のもとで行われた修祓式に次いで，講堂において竣工式が行われた。700名を越す出席者があり，講堂に入れなかった一部の方々は大教室で，講堂内の竣工式の様子を中継放映しているテレビで御覧いただいた。午前11時，高木圭二郎副学長の開会に始まり，施主代表挨拶が鹿島俊雄理事長および松宮誠一学長よりあり，次いでフロリダ大学歯学部，カロリンスカ大学歯学部，廷世大学校歯科大学の各姉妹校代表の紹介が行われた。

来賓祝詞は以下の各氏より頂いれた。

徳永正利参議院議長，文部大臣代理石橋一弥政務次官，厚生大臣代理石野清治事務次官，沼田武千葉県知事，松井旭千葉市市長，日本歯科医師会々長代理窪田正夫常務理事，河邊清治東京歯科大学同窓会々長，大川豊太郎東京歯科大学父兄会々長，藤田知義千葉県歯科医師会々長，坂登輝夫千葉市歯科医師会々長。

また，鈴木善幸総理大臣，渡辺美智雄大蔵大臣，宮沢喜一内閣官房長官をはじめ多数の方からの祝電が披露された。

次いで来賓紹介の後高木圭二郎理事より工事経過報告が行われ，感謝状が以下の各氏に贈呈された。

鹿島建設株式会社石川六郎副社長，東京歯科大学同窓会河邊清治会長，東京歯科大学同窓会井上真名誉会長，千葉校舎建設実行委員会代表春原定栄氏。

これに応え，鹿島建設株式会社の石川六郎氏が代表して謝辞を述べた。

12時30分高木圭二郎副学長の閉会のことばをもって竣工式を滞りなく終了した。

竣工式に引続き竣工祝賀パーティーへと移行したが，パーティー会場には人工芝の敷詰められた体育館アリーナがあてられた。750名を越す祝賀パーティー出席者の中で12時40分高木圭二郎理事の司会による開会で，鹿島俊雄理事長，松宮誠一学長の挨拶に始まり，理事長および学長の両名による鏡割した祝酒をもって井上真同窓会名誉会長の音頭で乾盃が行われた。用意された木の香も新しい升には「祝　東京歯科大学千葉校舎竣工式　昭和56年11月7日」の文字も鮮かであった。御招待申し上げた公職関係者，建設関係者および同窓関係者や大学関係者の祝いの宴はいやが上にも盛り上りをみせた。なおこの間適時学内見学を行っていただいたが，各部所には大学教職員が配置され，広い校内に迷わぬようにまた各質問に応じられるような体制をとった。日脚の速い晩秋の夕，早朝からの小雨も上がり，翌日の創立90周年記念式典に想いをはせながら午後5時には竣工式の1日を閉じた。

創立90周年記念式典・記念祭歌披露・記念パーティー挙行さる

この秋，新生母校にくりひろげられた多彩な慶祝行事の結びを飾る東京歯科大学創立90周年記念式典は，好天に恵まれた11月8日(日)午後1時から大学講堂で盛大に催された。当日は，各界の来賓をはじめ全国から集う父兄，同窓の数は千数百名に及んだ。式は，東京歯科大学合唱部の校歌合唱に引き続き，式典小委員長金竹哲也学監の司会で開幕。高木圭二郎副学長の開会の辞では，松宮誠一学長の勲二等瑞宝章叙勲の栄誉が披露され錦上花を添えた。厳粛な中にも和気漂う式場には松宮誠一学長の式辞，鹿島俊雄理事長の挨拶が力強く響き渡った。ついで来賓各位から祝辞をいただいた。まず私立大学連盟会長大木金次郎青山学院学長に始まり，私立歯科大学協会長に代り副会長の石川堯雄鶴見大学歯学部長，フロリダ大学アレン歯学部長，カロリンスカ大学エドワール歯学部長，延世大学校金用瑄歯科大学学長，日本歯科医師会山崎数男会長，東京歯科大学同窓会河邊清治会長，同父兄会大川豊太郎会長と続き，こもごも本学の輝かしい歴史と伝統そして飛躍を讃えられた。また，各界からの祝電が披露された。

教職員・同窓物故者に対する黙祷のあと，永年勤続者表彰では，教員代表山本又雄教授，職員代表武田栄勇事務部長補佐が理事長より表彰状と金一封をいただいた。ちなみに20年以上勤続者は教員40名，職員24名であった。法人関係功労者としては河村弘理事が代表となって表彰を受けた。次に記念品は教職員代表高橋庄二郎千葉病院長，大学院生代表愛知徹也君，学生代表難波哲夫君，歯

科衛生士専門学校学生代表和田美奈子嬢にそれぞれ贈呈された。

ここで再び合唱部が登場，全員これに和して「校旗は燦たり」を斉唱，佐藤新一理事の音頭で万歳を三唱し万場母校の弥栄を祈念した。伊丹一男同窓会副会長による，やがて来たるべき創立100周年記念祝賀会での再会を約して，とのことばで式典は閉じられた。

さて，会場は一転し創立90周年記念祭歌の披露となった。斬新なデザインの円形ステージ一杯に母校の混成合唱団（合唱指揮者栗原由紀夫君），管弦楽団（インスペクター山満君）が出演，常任指揮者田代俊文氏の指揮で「甍に聳える」が関根弘教授の紹介で発表された。終って作曲者高江洲義寛，編作曲者新垣壬敏，指揮者田代俊文各氏に花束贈呈，さらに高江洲，新垣両氏に感謝状ならびに記念品，また今回の歌詞に応募された高江洲義矩，溝上隆男，安達康，相馬克巳，里見千和の各氏を代表して高江洲義矩氏に中久喜　喬記念祭歌小委員長の介添で松宮誠一学長から記念カップが渡され万場の拍手が湧いた。

記念祝賀会は，前日同様講堂隣の体育館２階アリーナと，さらに厚生棟前広場を加えた特設会場に移して午後３時から催された。祝宴小委員長高橋庄二郎千葉病院長の司会で，長谷川正康水道橋病院長の開会の辞，鹿島俊雄理事長，松宮誠一学長の挨拶についで，河邊清治同窓会長の乾杯で祝賀パーティーは展開された。フロリダ大学歯学部シュリーブ副学部長，中華人民共和国同窓代表黄群华上海鉄道医学院教授の祝辞のあとは，ＯＢ丹沢朝彦氏の率いるバンド演奏が軽快なメロディーを奏でる中，祝宴は絶高頂に達した。その盛況には学外来賓も目を見張るほどで，水道橋大家族主義の意気軒昂を天下に顕示した。さしもの盛宴も名残りを惜しみつつ父兄会西山厳副会長の閉会のことばで帳は降ろされた。

昭和57年度東京歯科大学入学試験案内

来年度の母校入学試験の出願期間，試験期日などは次のように決りました。詳細は直接入学試験要項，要覧を取寄せてご覧下さい。

昭和57年度東京歯科大学入学試験案内

1. 修業年限 6年

2. 募集人員 160名

3. 受験手続

1) 提出書類

(1) 入学願書 入学試験要項に綴込みのもの。

(2) 受験票 入学試験要項に綴込みのもの。

(3) 写真 脱帽3分身，6カ月以内に撮影したもの3枚(縦5cm×横4cm)。そのうち2枚は願書および受験票にのりづけし，残りの1枚は裏面に氏名を記入し，提出すること。

(4) 出身学校長の調査書 本調査書は入学願書・受験票・受験料・写真と共に提出することが望ましいが，別に提出してもよい。

なお，本調査書には，健康の欄の記入が必要なので，あらかじめ出身校に問合せ確認のこと。もし，記入してない場合には，綴込みの健康診断書を提出のこと。調査書提出の困難な廃校罹災校の出身者は，それに代る証明書ならびに健康診断書を提出のこと。

(5) 受験票送付用封筒 受験票の郵送を希望する者は，添付の受験票送付用封筒に宛名を記入し，切手(書留速達料共510円)貼付の上，他の書類と共に提出すること。

(6) 健康診断書 入学試験要項に綴込みのものを用い，昭和55年3月以前の高等学校卒業者のみ提出のこと。

(7) 受験許可書 就職中の者は就職先の受験許可書を，他の学校に在学中の者は学長または学校長の受験許可書を添付すること。

2) 受験料 30,000円

3) 提出期間 昭和57年1月5日（火）から昭和57年1月23日（土）まで（日曜・祝日を除く）。

4. 入学試験

1) 試験内容

(1) 学科試験 国語 現代国語
数学 数学(ⅠおよびⅡB)
英語 英語B
理科 物理(ⅠおよびⅡ)，化学(ⅠおよびⅡ)，生物(ⅠおよびⅡ)の3科目のうち2科目を試験場で選択

(2) 小論文試験

(3) 適性試験

(4) 面接試験

(5) 健康診断 色盲および強度色弱者は不合格とする。ただし色弱者の場合は，歯学教育を受け，診療を行う上で支障のない限り差支えない。

2) 試験日時

(1) 学科試験・小論文試験・適性試験
期日 2月1日(月)・2日(火)
集合時間 午前9時30分
時間割 2月1日(月)
国語 10：00～11：00
数学 11：30～12：50
英語 13：50～15：10

2月2日(火)
理　　科　10：00～12：00
小 論 文　13：00～14：20
適性試験　14：50～15：50

(2) 面接試験・健康診断
期日と集合時間
2月3日(水)・4日(木)・5日(金)
上記3日間のうちで，大学の指定するいずれか1日の午前または午後。願書受付時受験票の裏面に記載指示する。

3) 試 験 場　東京歯科大学（千葉校舎）

5. 合格発表

1) 日　　時　2月10日(水)　午後4時
2) 掲示場所　東京歯科大学基礎棟東入口（千葉校舎）
3) 発表方法　合格者は受験番号を以て掲示発表し，同時に合格通知を発送する。補欠者は合格発表の際に順位と受験番号を以て掲示発表する。補欠者には合格者に入学辞退が生じた場合，文書を以て通知し，入学手続きに必要な書類を送付する。

6. 合格者注意事項

合格者は学費として入学金その他，および父兄会・学生会の委託により徴収する費用を期限内に納めること。

1) 学　　費　入学時にのみ納入するもの

入学金	500,000円
歯学教育充実費	6,500,000円

毎年度納入するもの

授業料	2,000,000円
施設維持費	1,500,000円
合計	10,500,000円

2) 父兄会・学生会関係費

父兄会関係

入会金	10,000円
会費	14,000円
貸与共済基金負担金	10,000円
傷害共済基金負担金	6,000円

学生会関係

入会金	7,000円
会費	5,000円
合計	52,000円

3) 納入期間

入学金	2月12日(金)から2月20日(土)正午まで
歯学教育充実費 授業料 施設維持費 父兄会・学生会関係費	2月12日(金)から2月27日(土)正午まで

4) 寄付金
施設の整備充実等にあてるため任意の寄付金を募集する。詳細は入学許可後に配布する寄付金募集要項を参照されたい。

5) 優遇制度
(1)本学貸与奨学金制度，(2)本学父兄会貸与共済制度，(3)本学父兄会傷害共済制度，(4)日本育英会奨学制度，(5)その他の制度がある。

7. 宿舎の紹介

受験のため宿泊あっせんを希望する者は，入学試験要項綴込みの宿泊申込用紙に必要事項を記入し，宿泊料金と返信用切手60円を現金書留封筒に同封のうえ，1月23日（土）までに下記の申込先に郵送すること。

申込先　〒280 千葉県千葉市富士見2-2-1
日本交通公社千葉支店
東京歯科大学受験宿泊あっせん係
電話　0472(22)8485，(27)9221

◎**入学試験要項東京歯科大学要覧**をご入用の方は東京歯科大学（千葉校舎）教務課へ**1,500**円（郵送の場合は350円分の切手を同封）を添えてお申し込み下さい。なお水道橋校舎でも直接受けとられる方にはお頒けしています。

昭和57年度東京歯科大学歯科衛生士専門学校入学試験案内

1. 修業年限 2年

2. 募集人員 40名

3. 出願期日 **昭和57年1月11日(月)から昭和57年2月18日(木)まで**

窓口に直接差し出す場合は，日曜，祝祭日および2月12日（本学創立記念日）を除き，午前9時から午後3時まで，土曜日は12時まで。

（郵送は締切当日消印のものまでを有効とする）

4. 出願場所

東京都千代田区三崎町2丁目9番18号
東京歯科大学歯科衛生士専門学校事務室
03(262)3421(内線)288

5. 提出書類

1. 入学願書(入学試験要項に綴り込みのもの)
2. 健康診断証明書（入学試験要項に綴り込みのもの）
3. 写真2枚（脱帽3分身，裏面に姓名記入，撮影後6カ月以内のもの，1枚は9cm×5.5cmに切って同封，もう1枚は4cm×3.5cmにして願書に糊づけすること）
4. 出身校等学校長の調査書

6. 試　験

(1) 学　科
①国語：現代国語　②数学：数学Ⅰ　③英語：英語B
(2) 課題作文
(3) 面　接
(4) 健康診断

7. 試験日の期日と場所

2月25日は午前9時30分集合。
試験はすべて東京都千代田区三崎町　東京歯科大学歯科衛生士専門学校で行なう。

2月25日(木)	10：00～11：00 国　語	11：15～12：15 数　学	1：30～2：30 英　語	2：45～3：15 作　文
2月26日(金)	9：00～　面接・健康診断			

8. 合格者発表

○2月27日　午後3時：東京歯科大学正面玄関（水道橋）

9. 参考事項

所在地と電話番号
〒101　東京都千代田区三崎町2丁目9番18号
03(262)3421（内線）288・269

入学時所要経費

区　分	入学時納入金	第2学年時納入金
入学金	50,000円	
授業料	年　額 400,000円	年額　400,000円
設備費	50,000円	50,000円
学生会費	(入会金含む) 5,000円	3,000円
合　計	505,000円	453,000円

○入学後は上記の他に教材費，実習着代等が自己負担となります。

◎入学試験要項は水道橋の東京歯科大学歯科衛生士専門学校教員室で**600**円でお頒けしております。なお，郵送の場合は670円を現金書留か郵便為替でお送り下さい。

支部のうごき

福　岡　県　支　部（福陵会）

残暑酷しい８月29，30日の両日，56年度の福岡県支部である福陵会懇親会を筑後川沿いの原鶴温泉，ホテル小野屋に於て開きました。福岡県は，年に一度の総会の他に，県を東西南北の四地区に分け，各地区の持ち廻りで親睦を旨とする懇親会を開く事にして居ります。今年度は西地区の担当にて，新しい役員も変わった最初の行事として開かれました。会員21名，家族15名の参加で，宴会は新婚ホヤホヤの新入会先生（平川彰生，永江健一夫妻）カップルのアッアッムードの歌に当てられたり，栗田先生が，持参の扮装による隠し芸の熱演や，カラオケの競演で，かつてない程の賑やかさになりました。宴会後は，筑後川に，合計60隻有余の鵜飼舟がくり出す中に混って，川面に提灯の灯りをゆるがし，鵜匠の巧みな手綱さばきに，終りゆく夏の夜の情緒を楽しみました。翌日は快晴。車を連ねて巨峰狩りに出発，甘い実をつまみながら，持ち切れない程のぶどうの房をおみやげにし，又，焼物の里，一の瀬焼きを鑑賞したり，浮羽の里五葉山大正寺にて，精進料理を，作法に従って賞味し，日頃仕事一途な先生方も，各々が食膳を運ぶ姿は，ちょっとした眺めでした。そして，記念撮映の後，来年の再会を約束して散会致しました。皆さんの，日頃の精進が良かったのでしょう。前日迄の心配された雨もあがり，絶好の行楽日和りとなり，皆さんの協力と共に滞りなく会を終る事が出来て何よりでした。

「袋かけぬ　小さきぶどうも　色づきぬ」和風

「同窓と　一夜酌み交う　鵜の宿り」

会員出席者名

宇美房敏，深山博，北正明，川村泰造，帆足木五郎，栗田哲次，高山正季，伊藤清水，永江敬之，高石一秀，平川光昭，井口由彰，広田稔，三吉聖一郎，川嶋和宏，永江健一，広田種英，平川彰生原田忠彦，

（原田　記）

横浜北部支部

去る９月20日(日)，横浜北部支部（神奈川区，港北区，緑区）の支部会員，家族および従業員の親睦会が緑区の中山駅近くの平本栗林で行われた。当日早朝は前夜来の雨が多少残っていたが，開会の午前11時頃からは雨もあがった。三島平左衛門支部長の挨拶に始まり，高橋謙作神奈川県支部連合会会長の挨拶があり，当日御出席をいただいた河邊清治同窓会長の来賓挨拶から来賓の紹介へと続いた。会役員やその家族・従業員の前日よりの準備で展開された生ビール，焼鳥，焼もろこし，おでん，焼そば，綿飴と盛り沢山の各模擬店に加えワインの出張サービスをも加えテントのまわりで参会者各位は大いに親睦の実をあげていた。餅つきの杵の重さも忘れてついたつきたての餅の味もまた格別。私設トイレまでを用意された同会役員の配慮はこれにとどまらず，土に楽しむことの少ない近頃の不満を満たしてくれるとでも云うべき芋堀りを企画され，これには大人も子供も時の過ぎるのを忘れて泥にまみれた。さらに子供達のために用意されたお楽しみ袋をもらった子供達のうれしそうな顔が印象的であった。河邊会長，伊丹副会長，田熊庄三郎教授，藤田成孝神奈川県民生部保険課技官，および緑区歯科医師会長平柳武男先生をはじめ12名の来賓を含め150名を越す参加者は，薄陽のさす午後一同手に手に栗や芋をたずさえて楽しい一日を振り返りながら帰途についた。（広報　溝上記）

東京地域支部連合会

東京地域支部連合会では10月２日，母校水道橋校舎西別館会議室において，第４回理事会を開き，先きに諮問されていた会則検討及び福祉共済両委員会の答申について協議した。

会則については坂寛委員長より答申書の説明が行われた。これによると改正案の主な内容は①東京地域42支部を６ブロックにわける（第２条）②事業の中に医療保険に関する調査研究を設ける（第５条）③理事は10名以内に限定し６名は各ブロックの推せんとする（第６条）④評議員制をとる（第７条）⑤歯科医政連絡協議会を設ける（第８条）等で，理事会ではこれを了承し，第11回総会（11月27日開催予定）の第３号議案として上程する。

福祉共済については山清委員長より答申書が読み上げられ，グループ保険の運営費が解明された事を了承，これを同窓会で報告，今後の共済運営については協議事項として諮られる予定である。

（広報担当　安藤三男）

クラス会だより

十　四　会

昭和４年卒

小舩不二男君の急逝を悼む。

万人いづれも死ぬ事を知り乍，日頃元気な，スポーツマンの君が，心不全のために急逝された事は，信じ難い驚きであり，啞然として言葉も出ない。最近君は，旧診療所の隣りに，完備された，診療所を新築された事を，引越の手伝いに伺った孫からきいた。その時君は大変元気だったとの事だった。歯学，医学を，志し最高の医術を修められた，御子息達と，これからの人生を，医人として，なしとげた数々の業積を共に語り合う喜びをたのしみにして居られたであろう事を想う時，計らざりし君の死去は，ご遺族の上にも，十四会にとっても，悲しい出来事である。過ぐる，卒業50周年式典には，御夫人と同伴で出席され，旧友と語り，記念写真におさまった君の姿は，来るべき卒業55周年式典には，亡き人の数に君を迎える，悲しい事となった。

この訃報を手にした十四会員は，等しく君を追憶し，君のご冥福を祈りつつ，ご遺族の御多幸を願つて，深く黙禱を捧げ合掌したであろう。

小舩不二男君よ，安らかに眠り給へ。11月10日

（高橋初太郎 記）

仁　峰　会

昭和15年卒

正岡健夫君の追慕

“露の世は，露の世ながら，さりながら”一茶

正岡健夫君は去る９月６日卒然として他界した。歯科界はもちろん，われわれクラスメートはこの偉才の急死を惜しんでやまない。

彼は14年の長きにわたって愛媛県歯科医師会長の重責をよく果たし，日本歯科医師会副会長も務め，文字通り歯科界の信望をあつめた男であったことは衆知の事実である。

× × × ×

私たち仁蜂会のメンバーは昭和11年，即ち45年前の春からの附合いであるが，彼とは当時水道橋のとある食堂の一隅で３時間近くも話した。話の内容ははっきり憶えていないが，お互に春秋に富む頃で，未来像を追った楽しい時間だった。激しい戦時動乱をくぐって彼と再会したのは日歯会館に愛媛県歯会長として上京した，多分昭和40年頃だったか，以来日歯会館ではしばしば会っていた。

× × × ×

パリで30分程じっくり話し合ったのが彼との最後の機会になった。一昨年秋，ＦＤＩパリ大会に日本歯科医師会代表団長として出席した彼と，例のごとく私は歯科ペンＦＤＩ旅行団を引卒していったので，セーヌ河畔の喫茶店で，そぼ降る秋雨の街を眺めながらの旧懐談だった。

今，一葉の写真を前にしている。パリ随一といわれるジョジルサンクホテルで行なわれたパーティーでブラウンＦＤＩ会長（ドイツ）や高添君（東歯大教授）と私たちのスナップである。ブラウン会長はＦＤＩ幹部の中で私の最も親しい気心の合った人だったが，昨年１月鬼籍に入られた。私は正岡君がクラスメートである悦びを一しお味わった。彼がその時多忙のため，私の同郷同士の弟子丸泰仙師（パリの禅僧として高名）のベルネティ禅堂に案内できず，まことに残念だったことなど思い出した。

× × × ×

彼は長年「金石文」研究に凝り，愛媛県金石文誌を刊行したが，仏教の篤信家で毎日般若心経の写経をしていたので，会うたびに仏教の話に花が咲いたものだった。

何年か前，私が満岡文太郎氏の参議院選挙の前に愛媛県歯会館で講演するため松山を訪れたときも地元のお寺を案内してくれたことなど追想している。彼は温厚質実な中に素晴らしい卓見を有していた数少ない人材であった。

× × × ×

私は『仁蜂』卒業40周年記念誌から，一味ちがった風格の彼の一文を抜萃して，心から悼意を表したい。

ろくに勉強もせず孤独で過ごした自分は，歯科の道に入ったことを後悔しつづけて卒業した。そして戦渦の中にまきこまれ，幾春秋の青春を空費し，南海の孤島の俘虜生活の中に，身も心も打ちさいなまれて，焼けただれた故国に帰ったのは，三十いくつか，今でもはっきりしない。あれから三十年，火宅の中の営み，血なまぐさいまでの生活環境であった。

臨床家として不適当であると，自らを評価して，いつのまにか「会」という組織のお世話をする身となった。思い出すと汗顔の到りである。

ハット気付いたときには，六十の坂も越え，頭には殆んど霜を戴き，秀麗と観じた吾妻も，既に晩秋の景色，子供も六人，孫も十二名，私たち夫婦と嫁を合算すると二六名という大勢力となった。金もなければ，なんにもない。生命だけが沢山になった。

余生幾ばくか。でも桜の花を見ては胸を高ならせ，春宵を千金と評価した頃を，時あっては，今でも老愁の夢に訴え，今日も生きる現実を，朝のめざめに感謝する，この頃である。

時に卒後四十周年という。孤独の中に人一倍のロマンを夢みて，また一つの馬齢を加えた。一つぶの種が，四十八の瞳を輝やかせる注目の人となった。

何をやらせても後まわしの，智恵おくれの私をおゆるし下さい。

（堤　敏郎 記）

51　期　会

昭和20年９月卒

Ⅰ）幹事交代と次期幹事の紹介

年内一杯で任期満了のため先般幹事会で人選を協議した結果，次期幹事が次の様に決定した。任期中の好意と友情に深謝したい。1）代表幹事：酒井惣一郎2）副代表幹事：早川嘉彦3）総務担当幹事：橋本　元，増田　一，中村　毅，鶴岡清一4）会計担当幹事：二日市光郎5）監事：桜井正。来年度から前述のスタッフで執行，何卒倍旧の御協力と御支援をお願いしたい。次号に抱負を掲載。乞う御期待！

Ⅱ）昭和57年度51期会総会開催の予告

先般51期会報で通知した様に来年の総会は中京

地区愛知県ブロック代表名古屋の中川君，川崎君のお世話で開催されるので計画の全行程を掲載します。

1) 期日：昭和57年5月下旬の予定
2) 場所：近鉄名古屋駅前集合
3) 日次：2泊3日の日程
4) 行程：第1日＝近鉄名古屋（特急）—賢島泊，総会と懇親会開催。第2日＝賢島—鳥羽，真珠島—伊勢神宮—松阪市内—湯の山温泉泊。第3日＝ホテル前—御在所山上公園—桑名市内—名古屋駅(午後解散)。大体以上の様な行程で開催されますが，いずれ具体的な最終決定の通知が学友諸兄宛に届くものと思います。さて中京地区の学友安倍君，桜井（真）君，井本君，三宅君，三重県四日市の門脇君，熊野の斉藤（仁）君等には何卒中川君と川崎君を中心に積極的な協力をお願いします。又全国学友諸兄と五十華会の奥様も数多く参加されたい。特に関西地区と中部地区の学友及び来年還暦祝の学友24名は是非出席される様に！

Ⅲ）学友小沼四郎君の消息

去る9月3日に突然高血圧症による脳血栓で倒れ台東区永寿総合病院に入院加療中の由51期会より御見舞を送付しました。目下退院し自宅療養中です。小沼君の一日も早く快方に向われるのを心から祈念したい。（鶴岡　記）

十　期　会

昭和37年卒

水道橋で単立った十期会も，来春には満20年を迎えることになる。母校の水道橋の専門課程は千葉の新しいキャンパスへ移転となり，懐しい水道橋も変りつつあります。

また，来る11月には，母校は創立90周年事業を開催することになっている。この様な時期の6月27日，全国から同期の旧友が馳せ参じて来た。場所は熱海，伊豆山の閑静な宿「桃李境」に元気発剌な，面々が顔を合せての，歓談が尽きなかった。

当日午後4時からの総会では，各報告のあと，20周年記念の件その他の協議事項が活発に行われた。総会後，かつてのクラス担任としてお世話になった母校の金竹哲也学監が御出席なされて母校の近況についてお話しくださった。特に学内外に御繁忙の時期でお泊りする時間のないスケジュールの中を，金竹先生御自身で撮影された千葉校舎のスライド写真を混じえて一同に披露されてのお話に，出席者全員が，感無量となった。

十期会の面々も40代のほぼ中堅に有り，全国各地で歯科医療人としての中核的存在で活躍している様である。それだけに各地域に在ってその責任

の重みも倍加してこよう。その反映として，母校の発展に期待する声はこれまで以上に強烈なものが感じられた。人間誰しも，歳月の流れの中に自己を発見するのであるが，母校の歴史の歳月を想うと，又医療人としての自分の胸の内に訴えて来るものがある。そんな想いのせいか，その夜は，いつ尽きるともない語らいで更けていった。

翌朝は，ゴルフ同好者は，箱根へ，そして，参加者一同東西南北へと又日常の生活の中に消えて行った。　　（山内　記）

富　己　会

昭和40年卒

２年に１回の“富己会”総会は前回東京より引きつぎ９月12日，新潟市で行いました。我ら県在住８人は新潟の一流コースを楽しんでいただこうと料理も酒もゴルフ場も，会費も一級にと一年も前から会員各氏へしつっこいほどの誘いの手紙攻勢に，総員45名集合。千葉校舎の状況を住井俊夫君より聞く。古来文人墨客が杖をとめ，創業維新前夜といわれ粋人の間でその名を知られる天下の鍋茶屋において地酒の一級“朝日山”を一番の遠路，松山からの西田久美君が樽をわり開宴，たまたま座ったところが床柱で乾杯の命をうけた札幌の杉本省三君いささか緊張ぎみ。来賓もなく，先輩もなくすべて御同役コンパの雰囲気で伝統の料理に越後のつぺに南蛮えびと舌鼓，美妓の手踊りに流石は本場と嘆声しきりで最高潮。

総会２日も前よりゴルフ愛好者の結束かたく17名来港。日本海ＧＣ，紫雲寺ＧＣとクラブを振いすっかり新潟の夜に精通して幹事顔まけの活躍ぶり，二次会，三次会が延々つづいて夜があけました。

翌13日（日）新潟港より22億円もかけたという御自慢の“ジェットフオイルおけさ”で佐渡へ。島を一望する大佐渡スカイラインを通り佐渡金山では360年前の抗に流人の電動人形が当時の作業を再現していておどろく。尖閣湾ではイカの丸焼きに食いつき沈む太陽に詩情をそそられ「ホテル大佐渡」に着く。広く海外にもひびいた立浪会本場の「佐渡おけさ」「相川音頭」おもわず“へそ”をおさえた鬼太鼓の勇壮な踊り，地元芸者さんから手ほどきうけた手捌き足捌き，翌朝はすっかり忘れていました。

翌日も晴天，真野御陵ときの郷，妙宣寺と廻りコシヒカリ定食フルコースで打ちあげの中食。

飲んで食べて，揺られて新潟駅前で解散。

今回は家庭と職場で頑張っておられる石山，市

川，赤堀，西田，藤森，北見姉の参加をおねがいできましたことはより一層楽しい会となりました。次回２年後東海地区の皆様に引きつぐことに決定。

同級各位の御協力で新潟大会が無事終了することができました。ありがとうございました。

（富己会　新潟県在住一同）

踏　志　会

昭和41年卒

前略，秋到来，皆様方には益々御健勝にて御活躍の事，お喜び申し上げます。

於て，両日，踏志会第16回総会が９月18，19日神奈川県在住の人達の骨折により盛大に開催されました。

18日(金)は名門戸塚ＣＣにてゴルフ，天気はうす曇りでゴルフには汗もでぬ絶好のコンディションのもと，遠く北海道より馳せ参じた高間（旧姓向山）さんを始め，病癒えた伊沢（旧姓小幡）さんの２女性が参加し総勢19名の腕ならぬ口くらべの1.5Rでした。結果は年の功で篠沢君が44.44H 18，ＮＥＴ70で優勝，ＢＧは43.41の中条君，ＢＢは高間さんにオーバードライブされ，頭に血がのぼった61.50の藤井君でした。そして高橋君の用意した賞品の山々に皆大喜びでした。ゴルフ参加者は，臼田，伊沢，黒田(光煌)，篠沢，傘原(保)，角田，中条(正仁)，鈴木(捷治)，武田，柴山，対馬，高間，藤井，山口(弘一)，山本(和郎)，赤柴，八百枝，高橋君，藍原でした。翌日は残念乍ら前夜からの雨が降り続き，二日酔の目をしょぼつかせながら宿泊のザ，ホテルヨコハマをあとに，バスにて一路鎌倉観光へと出発，前日のゴルフ組に田中(紀夫)，令子夫妻，山本(芳隆)，井上，上田，吉岡，五十嵐，寺木(旧姓鎌田)，武藤(旧姓長崎)，安藤，石内，上原，笠井君達も加わり，吉岡君の名司会のもと，各自の近況報告のうちに鎌倉八幡宮に到着，五十嵐君の用意周到な色とりどりの笠を持ち，参拝，次いで建長寺，円覚寺を見学の後，縁切り寺として名高い東福寺にて，井上善定和尚の当意即妙な説明に皆それぞれに感じ入っていた様だった。そして昼食は寺の前にある松ケ岡で会席弁当で腹を満たした。この頃より皆の普段の行いのお蔭か天気も回復し２日酔組も元気を回復，午後の銭洗弁天では，丁度己の日でこの日に参拝すると，福徳利益を招くとの事，皆大張切りで倍にも３倍にもとお金を洗っていた。その後，鎌倉江の島の海岸道路にてドライブを楽しみ，帰路横浜の外人墓地等異国情緒を味わい，学生時代そのままのバス旅行でした。

いよいよメーンの総会が中華街の名で全国に知れるその中でも冠たる万珍楼にて見明，東両先生をお迎えして盛大なうちに行われました。全員そろったところで記念撮影後角田君の司会により総会が開かれ，まず会長藍原の挨拶があり，56年度

の報告をして，①現在副会長，上竹，臼田，幹事として安藤，青木，河村，神谷，柴山君等に骨折願っており，役員会を２回行った事，②かつて同級であった謝君の御逝去が報告され，ひき続き，安藤君より，会計報告がなされ現在残高が1,565,278円，との報告され，承認され，万場一致で引き続き議事としてS57年度の事業計画案として，次回の総会を福岡県で開催されることが絶大なる拍手のうちに決定された，又，名薄作成の件と57年度予算案も承認され，手際よく総会が終了した。いよいよ宴席となり，各テーブルに女性も加わり華やいだところで次期総会地と決定した福岡の橋本君の音頭による乾杯，座も一段とにぎやかになり，テーブルの美味，フカヒレの煮込や，ペキンダックの皮料理に舌鼓をうち，舌の回転もなめらかに，あちこちに話の花が咲いて，夜のふけるのもあっと云う間，予定の閉会時間をオーバー稲川君の音頭による校歌の大合唱のうちに来年の再会を楽しみに，10時近くに，２次会組，麻雀組等それぞれの思いを胸に散会した。２次会組40名は，カラオケならぬピアノをバックにそれから夜の更けるのも忘れ，大いに，歌い飲み話し，青春時代？を謳歌し更に数名は翌朝ホテルに帰宿したようでホテル係の武田君も大分頭を悩ましたようだった。

総会出席者は安藤，藍原，青木，井上，井本，五十嵐，伊沢，石内，稲川，今仲，上田，上竹，上原，臼田，浦島，角田，笠井，笠原(保)，河村，川村，城所，衣松，黒田(光)，小菅，佐藤(富貴子)，佐藤(悠)，篠沢，柴山，進藤，鈴木(捷)，鈴木(禎)，田中(紀)，田中(令子)，田中(勝)，田中(良子)，高橋，高間，武田，中条(正)，対島，寺木，中村，成田，橋本，林，広瀬，藤井，藤城(鉄)，細田，本間，真坂，武藤，八百枝，山口(弘)，山口(忠)，山口(英)，山田，山本(和)，山本(芳)，吉岡，早稲田君達でした。

追伸：①名簿が出来ましたので同封致しましたが，変更もしくは誤りがありましたら，藍原まで御連絡下さい。②維持会費１万円，まだ未納の方は至急，安藤君まで御送金下さい。

（藍原　記）

◆原稿応募規定

原稿締切りは奇数月の10日で，原則として翌月発行の会報に掲載いたします。

投稿は原稿用紙に**横書き**でお願いします。便箋などのご使用はご遠慮下さい。尚この会報専用の原稿用紙（22字×10行）も準備してありますから，必要な時に請求して戴けば，お送りします。

随想，詩，短歌，時評など，寄稿は**1編1,500字以内**ぐらい，クラス会だよりは**700～800字**程度でお願いします。よろず告知板も，ご遠慮なく御利用下さい。

折角ご寄稿戴いても，規定字数を超える場合は，掲載いたしかねることがありますのでご諒承下さい。

「私のアルバム」の材料などは，ほとんどの皆様がお持ちと思います。簡単な文章をつけて是非ご提供下さい。また古い想い出の写真など，お貸し願って誌上で昔のよしみを温めたいと存じます。

原稿及び写真は原則としてご返却いたしませんが，特に貴重な写真などの場合はその旨お書き添え下さればご返送申しあげます。

◆へんしゅうこうき

☆ 母校関係の今年のビッグニュースはなんといっても，千葉校舎の完成，大学の水道橋から稲毛への移転でしよう。千葉校舎などという言葉から受けるニュアンスよりも遙かに広大で，上品で，調和のとれた校舎群と，整備された校庭空間が広がるキャンパスがそこに完成されています。さらに加えて折しも創立90周年の記念式。

すばらしいとは聞いていたものの狭くて薄暗い水道橋の校舎しか知らなかった筆者には，我が想像力をはるかに超えた，そのあまりの見事さに驚きました。

立派な伝統という誇りに加えて，これからの私達同窓生には名実共に立派な母校という誇りが加わりました。若ければ，あのキャンパスで，あの設備でもう一度勉強し直したいという声も聞かれます。これからの学生諸君は幸せだと思います。

☆ 本号には千葉校舎関係および創立90周年記念式関係のカラー写真を掲載することができましたが，まだ，新しい千葉校舎のキャンパスを見学していない同窓の先生方の見学を是非おすすめします。レンズで見るのと肉眼で見るのとはまた別，本物は本物の味がします。マスコミや世間から魔女狩り的センスでいじめられている歯科界の私達に，自信と誇りと勇気を与えてくれる母校の勇姿がそこにあります。母校万才！祈母校の大発展！

（倉橋和啓記）

広報担当理事：中村泰之，溝上隆男，松川健二，伊藤　哲，白崎源有，林　幹雄，馬嶋博，野上順平
広報部委員：中久喜喬，梅田昭夫，倉橋和啓，山本啓介，櫻井善忠，薬師寺仁，松井恭平，林　量一

昭和56年12月15日　印刷
昭和56年12月20日　発行
東京歯科大学同窓会会報　第204号
編集・発行人　中村泰之
東京歯科大学同窓会
〒101　東京都千代田区三崎町2－9－18
電話（03）262－3421（内線226）
（03）264－4859（直通）
印刷所　一世印刷株式会社
東京都新宿区下落合2－6－22
電話（03）952－5651（代）

高輪と品川、ふたつのプリンスホテル

両プリンスホテルは、東京歯科大学同窓会の皆さまに特別サービスをご用意して、ご利用をお待ちしています。

由緒ある日本庭園を配して緑の中に静まる高輪プリンスホテル。500の客室、10をこえる各種レストラン、バー。 つねにプリンスホテルならではの、まごころをこめたおもてなしで内外のお客さまをお迎えし、真のくつろぎを提供いたしております。

都内でも有数の設備を誇るスポーツランドをはじめとして、のびのびと楽しめる新しいタイプのホテル、品川プリンスホテル。ビジネスでのご利用はもちろん、ご旅行にもご家族でのレジャーにも幅広く、気軽にご利用いただきたいホテルです。

●ご宿泊●

特別割引料金にてご利用いただけます。
ご予約は、会員専用の予約直通電話をご利用ください。

高輪プリンスホテル (03)445-1855　品川プリンスホテル (03)449-3581

★上記専用電話以外のご予約につきましては、特別料金によるご宿泊は、できませんのでご了承ください。

●ご婚礼●

同窓会の皆さまと皆さまからご紹介いただいたご婚礼に対して、
各種のサービスがございます。
サービス適用ホテルは、高輪プリンスホテル・品川プリンスホテル・麻布プリンスホテル・白金プリンス迎賓館です。

★ご予約の際は必ず東京歯科大学とお申出ください。

高輪プリンスホテル
東京都港区高輪3-13-1 〒108 TEL.(03)447-1111

品川プリンスホテル
東京都港区高輪4-10-30 〒108 TEL.(03)440-1111

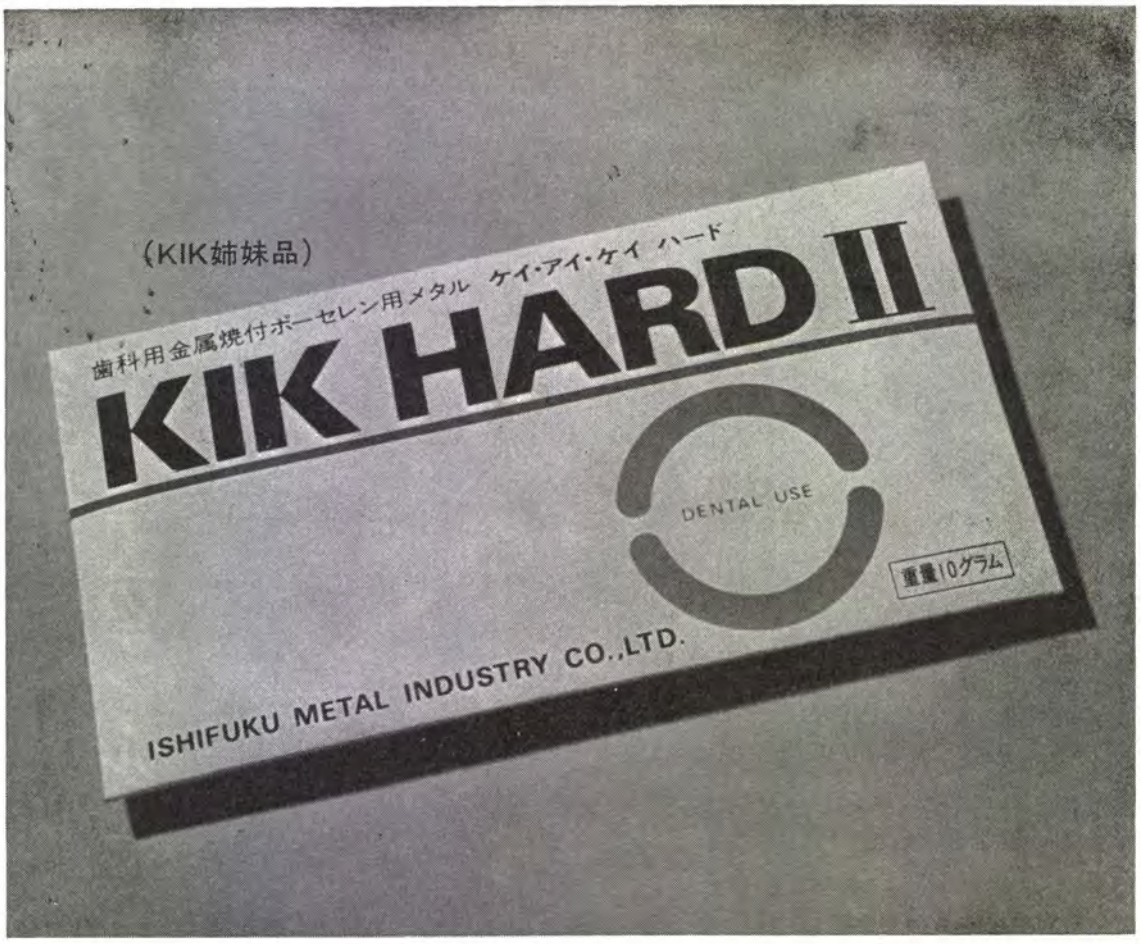
新製品

ハイテクニックを追求しつづけるオサダが、最新のエレクトロニクス技術をデンタルユニットに取り入れ、先生の診療を快適で高能率、メンテナンスの楽な簡潔化を計ったユニットに完成させました。

IC回路の採用により、例えばワークテーブルがぐっと薄くなり、先生方の胸上配置を可能にしました。又、ユニットの生命であるインスツルメントは全てオートクレーブ可能となりFPシステム(先取り優先)採用により、先生方がご使用中でも、他のバーの交換を流れに沿って助手が交換できるシステム等……技術に生きるオサダが、エレクトロニクスを診療機器に集結させ、先生方のご要望に応え、ここに登場しました。

※全国オサダショールームにてお手に取ってお試し下さい。

オサダの歯科機械
長田電機工業株式会社
東京都品川区西五反田5-17-5 ☎03(492)7651(代)



金属焼付ポーセレン用金合金

KIK HARD II

- ●硬度が210Hvと硬く、長いブリッジ・うすいクラウン等にも最適です。
- ●流動性が優れており容易に鋳造できます。
- ●焼成回数を重ねてもメタルの変形はほとんどありません。

主成分　金73%・銀2.8%・白金13%・パラジウム9.7%

諸性質　●溶融温度1240～1290℃　●比重17.8　●鋳造収縮1.34

	硬度Hv	引張強さkg/mm	伸び%
鋳造時	180	44	5
グレーズ時	210	46	5
硬化時	225	48	4

KIKポーセレンの他VITA・CERAMCO等のポーセレンに使用できます。

石福金属興業株式会社

歯科医療の総合商社
YOSHIDA

歴史が創り上げたユニットの傑作。

歴史のつみ重ねは、私たちに
り知れない多くのものを与えてくれました。
のスタッフもまた、歯科診療の歴史とともに歩み
び、生かし、創り上げて70余年を過ぎました。
て永年ご愛顧いただいたマルチエイトシリーズ。
代の結論として誕生したのが、ザ・マルチです。
フホワイトと、プルシャンブルーのツートンに、
切れ味の鋭さをたたえています。
語らずとも、きっとお判りいただけるはずです。
その繊細で忠実なつくりは、
ドクターの心をマスターした
珠玉のユニットです。

ザ・マルチ

詳しい資料は下記へご請求ください。
株式会社ヨシダ
〒110 東京都台東区上野7-6-9 ☎03-845-2911(代)
株式会社吉田製作所

予防歯科の時代です！
一歩リードしたスケーリングに
ネオ・オーラルハイジーンセットを!!

（用途）
- スケーリング後の研磨
- ルート サーフィス プレーニング後の根面研磨
- 支台歯形成面の研磨
- 修復物表面の研磨
- ＺＳ除石施行に際しての使用には最適です.

（特長）
- 常に一定したペースト状態で使用でき操作性が良好です.
- 回転用器具を使用しても適度な粘りがあり飛散しません.
- 使用後、スプレー洗浄で容易に除去できます.
- 歯肉や軟組織に障害を起さず、無害で毒性はありません.
- あらゆる修復物(コンポジット・アマルガム等)
  及び義歯床の仕上げ研磨に賞用されます.

ネオ・オーラルハイジーンセット

- 粗研磨材　スケーリングクリーム・アドネスト50ｇ瓶入
- 仕上げ研磨材　ネオ・ポリシングクリーム　50ｇ瓶入
- 発売記念として　ネオ・フィンガボール2個プレゼント

製造発売元
東京都渋谷区広尾3丁目1番3号
ネオ製薬工業株式会社

歯質への画期的機能をもつセメント

米国特許　4146606
英国特許　1574687

HY-BOND カルボセメント

1. 強力な接着性
2. すぐれた辺縁封鎖性
3. より向上した物性
4. 改善された操作性

HY-BOND ジンクセメント

1. すぐれた合着性能
2. よりよい辺縁漏洩の抑制作用

HY-BOND

PAT. PEND.

お歯黒がう蝕を予防し、かつ初期う蝕の進行を抑制していたことは疑う余地もなく、その作用機序を応用したフッ化ジアンミン銀製剤は多くの臨床例によってその効用が高く評価されています。ＨＹ材はこれらの研究から生れたものでう蝕の予防、初期う蝕の進行抑制、さらに象牙細管を封鎖し、歯質を強化することが期待され、しかも黒変しないという新しい機能をもつものです。100年近いセメントの歴史を変えるHY材を配合した新しいHY−BONDカルボセメント、HY−BONDジンクセメントが誕生しました。

HY−BONDカルボセメント
粉　125ｇ入…１　　紙練板……１
液　 70ｇ入…１　　スパチュラ…１
粉量計……１

HY−BONDジンクセメント
粉　125ｇ入…１　　粉量計……１
液　100ｇ入…１

SHOFU 松風陶歯製造株式会社
本　社／〒605京都市東山区福稲上高松町11・TEL.(075)561-1112(代表)

より速く、より正確に、より楽に歯科診療をすすめていただくための
スペースラインの使い易さが、多くの先生方によって実証されています。
最新の電子技術で内部のメカニズムをグレードアップ。
さらに、バキュームフィルターがハウジングの外側について
メンテナンスが楽になりました。

Spaceline® NEW STANDARD

株式会社モリタ ／東京都台東区上野２丁目11番13号〒110 ☎(03)834-6161／大阪・吹田市垂水町３丁目33番18号〒564 ☎(06)380-2525
北海道☎(011)742-3507・名古屋☎(052)741-5461・京都☎(075)241-3131・順慶町☎(06)251-2525・広島☎(0822)91-3531・福岡☎(092)411-9162・北九州☎(093)921-5
盛岡・仙台・新潟・横浜・静岡・岐阜・金沢・滋賀・宇治・宮津・和歌山・田辺・神戸・岡山・米子・高松・徳島・熊本・長崎・宮崎・鹿児島

株式会社モリタ製作所 京都市伏見区東浜南町680番地 〒612 ☎(075)611-2141／京都府久世郡久御山町大字市田小字新珠城190 〒613 ☎(0774)43-7

株式会社モリタ東京製作所 埼玉県与野市上落合355 〒338 ☎(0488)52-1315

相性ぴったり•ベリロイド

GC

ベリロイド《スティック》は、ベリコールアローマ/ベリコールアローマ《グリーン》とコンビで使う連合印象用寒天です。

いま、手軽な精密印象法として話題の

寒天とアルジネート印象材による連合印象法——

二つの印象材の相性の良否が精度や使い易さを、

大きく左右する点にもご注目ください。

好評＝ベリコールアローマ

/ベリコールアローマ《グリーン》との

相性を考えて開発されたベリロイド。

抜群の接着性、適度な流動性とコシの強さ、

そして識別容易な色調——

どこから見ても、生まれながらの名コンビです。

急硬化性アルジネート印象材
ベリコールアローマ《グリーン》

連合印象用寒天印象材
ベリロイド《スティック》 新発売

寒天印象材用シリンジ
ベリシリンジ《スティック用》

而至歯科工業株式会社 デンタルインフォメーションセンター G-C DIC

〒113 東京都文京区本郷3-2-14 Tel.03(815)1511 ●東京DIC 03(816)6480(直)

お問い合わせ先 ●北海道DIC 011(271)7373(代) ●東北DIC 0222(71)8757(代) ●名古屋DIC 052(703)3231(代) ●大阪DIC 06(771)4682(代) ●広島DIC 0822(55)1771(代)
●九州DIC 092(441)1286(代) ●新潟出張所 0252(84)6622 ●徳島出張所 0886(25)8244 ●長崎出張所 0958(47)6104 ●鹿児島出張所 0992(68)0070

歯科技工学科

■特　色

- 東京歯科大学の教授陣による高度で親切な指導.
- 少数精鋭主義による個別指導の徹底.
- 創立以来国家試験100%の実績.

受験資格：高校卒業又は同等の者
定　　員：50名
修業年限：２ヵ年
願書受付：12月１日(火)より昭和57年１月27日(水)まで
入試期日：昭和57年１月29日(金)
筆記・実技試験
昭和57年１月31日(日)
面接・身体検査
試験科目：英語(A)・数学(Ⅰ・ⅡA)国語(現代・古典Ⅰ甲)実技・面接

歯科技工専修科

■特　色

本科は，歯科技工士の資格を有する者に更に高度の専門教育を行い，特に臨床科目に重点を置き，マンツーマン教育を徹底させる.

入学資格：歯科技工士の資格を有する者(外国の資格も含む)
修業年限：２ヵ年
定　　員：25名

顧　問　東京歯科大学学長　松宮誠一

東京歯科技工専門学校

〒141 東京都品川区西五反田5-1-10（東急目蒲線不動前徒歩２分）　TEL03(492)4221代　※入学案内 〒共1,000円（切手可）

歯科鋳造用銀合金(銀・インジウム系)
クラウン・インレー・ブリッジ・
レジン前装冠・継続歯用　ニュータイプ

サリバン

パラエイト　タフネス

- 口腔内での耐変色性が非常に優れています。
- 縁端強度が充分あります。
- 適合性が抜群です。
- 鋳造性が良く、鋳肌も良好です。
- 生体組織に対する親和性が抜群に優れております。

日本歯研工業株式会社

本　　社：〒141 東京都品川区西五反田5-1-10 ☎03(492)0927(代)
支　　社：〒553 大阪市福島区海老江1-5-67 ☎06(458)7071(代)
上野営業所：〒101 東京都千代田区外神田6-10-6
吉岡歯材ビル2F　☎03(831)7031・7033